USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

Optoma

W402

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

mplamps.co.jp
プロジェクターランプ業界最大級のオンラインショップ

プロジェクターランプの交換時ですか？

お使いのOptoma W402の交換用ランプは、現在入手可能です。



Optoma W402プロジェクターランプ

部品番号：BL-FP260C / SP.70701GC01
モジュール付きのオリジナルランプ（取付準備完了）
180日間保証

21,930円から

コードをスキャンするかアクセスする

www.mplamps.co.jp/projector-lamps/Optoma/W402.html

表示価格は、このページが作成された時の価格です。現在の価格はサイトをご確認ください。

目次

目次 1
使用法.....2
安全情報 2
事前注意 3
目の安全に関する警告 5
製品の特徴.....5
はじめに.....6
パッケージの概要 6
製品の各部名称.....7
本体.....7
キーパッド.....8
入/出力 接続端子.....9
リモコン.....10
設置方法 11
プロジェクタへの接続.....11
コンピュータ / ノート パソコンへの接続.....11
ビデオソースの接続 12
3D ビデオデバイスへの接続.....13
3D眼鏡の使用 15
プロジェクタの電源オン/オフ.....16
プロジェクタの電源オン.....16
プロジェクタの電源を切る.....17
警告インジケータ 18
投射画像の調整.....19
プロジェクタの高さを調整する 19
プロジェクタのズーム/ フォーカスを調整する.....20
プロジェクタの画面サイズの調整 20
ユーザー管理.....22
キーパッドおよびリモコン.....22
キーパッド.....22
リモコン.....23
オンスクリーンディスプレーメニュー..30
操作方法 30
メニュー ツリー（階層）.....31
イメージ.....34
イメージ | 詳細.....36
イメージ | 詳細 | 信号（RGB）.....38
ディスプレー.....39
ディスプレー | 3D 42
設定.....43
設定 | 音声設定 45
設定 | セキュリティ 46
設定 | ネットワーク| LAN Settings 48
設定 | ネットワーク| Control Settings..50
設定 | 詳細 51
オプション 52
オプション | ランプ設定 55
オプション | リモート設定 57
オプション | 詳細 58
オプション | オプションのフィルターの設定.....59
付録 60
トラブルシューティング.....60
画像の問題.....60
その他の問題 62
リモコンの問題.....62
LED 点灯メッセージ.....63
オンスクリーン メッセージ.....64
ランプの交換 65
ダストフィルタの取り付けと洗浄.....67
互換モード.....68
RS232 コマンドとプロトコル 機能リスト.....70
RS232ピン割り当て.....70
RS232プロトコル機能リスト.....71
天井への取り付け.....75
Optoma社グローバルオフィス 76
規制と安全に関する通知 78
FCC通告 78
EU諸国への適合宣言 79

安全情報

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模 で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告:火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

クラスB放出限度

当クラスＢデジタル機器はカナダ電波障害発生機器規約の全ての条件を満たしています。

安全に関するご注意

1. 通気孔を塞がないでください。プロジェクタを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクタを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
2. プロジェクタは、水気や湿気のあるところで使用しないでください。火事や感電のリスクがありますので、プロジェクタを雨や湿気にさらさないでください。
3. ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
4. 乾いた布で拭いてください。
5. メーカー指定の付属品/アクセサリーのみをご使用ください。
6. 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです（ただしこれらに限定されません）:
   - 装置を落とした。
   - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
   - プロジェクタに液体をこぼした。
   - プロジェクタを、雨や湿気にさらしてしまった。
   - プロジェクタ内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

   お客様自身でこのプロジェクタを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
7. プロジェクタ内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
8. 安全に関係するマーキングについては、プロジェクタの筐体をご覧ください。
9. 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。

事前注意



この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



- ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタの電源は入りません。「ランプの交換」(65～66 ページ) に記載の手順に従ってランプを交換してください。

警告 - ランプ点灯中は、プロジェクタレンズをのぞいてはいけません。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。

警告 - 火災や感電の原因となるため、本プロジェクタを雨や湿気にさらさないようにしてください。

警告 - プロジェクタのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。

警告 - ランプを交換する際は、ユニットの熱が冷めるまでお待ちください。65～66ページに記載の手順に従ってください。

警告 - 本プロジェクタは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。

警告 - ランプ モジュールを交換した場合は、オン スクリーン表示の「オプション|ランプ設定」にある「ランプリセット」機能を使用してリセットします (55ページ参照) 。

警告 - - プロジェクタの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクタは、少なくとも90秒間、放熱させてください。

警告 - プロジェクタの動作中に、レンズキャップを取り付けないでください。

警告 - ランプの寿命が近づくと、「ランプの寿命が過ぎています。」というメッセージが画面上に表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。

使用法

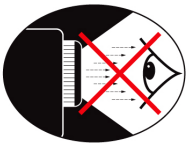
推奨事項：

- ❖ 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ❖ ディスプレーの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。
- ❖ 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項：

- ❖ 本体の通気用のスロットや開口部を塞がないでください。
- ❖ 当機器を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- ❖ 以下のような環境下では使用しないでください:
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    - ▶ 室温が 5°C～40°C の範囲に保たれていることを確認します。
    - ▶ 相対湿度は10%～85%の範囲です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。

目の安全に関する警告



- ❖ 常にプロジェクターの光線をまっすぐ見つめたり、光線の方角に直接向くことは避けてください。できる限り光線には背を向けるようにしてください。
- ❖ プロジェクターを教室で使用する際に、画面上の何かを指し示すことを学生に求める場合は、適切に指導してください。
- ❖ ランプの消費電力を最小限に抑えるために、部屋のブラインドを下ろして周辺光のレベルを下げてください。

製品の特徴

NOTE

❖ 製品の特徴はモデルによって異なることがあります。

- ❖ ネーティブ解像度 XGA (1024 x 768) / WXGA (1280x800)
- ❖ HD 対応 – 720p および 1080p サポート
- ❖ BrilliantColor™ テクノロジ
- ❖ ケンジントンロック
- ❖ RS232 コントロール
- ❖ 高速シャットダウン
- ❖ フル 3D（68 ページを参照）
- ❖ 製品の特徴は製造メーカーにより、実用的環境に応じて設定されています。

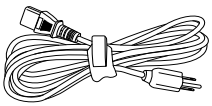
パッケージの概要

箱を開け、中身をよく確認し、以下の付属品がすべて入っているかどうかお確かめください。万が一不足品がある場合は、Optoma カスタマーサービスまでお問合せください。

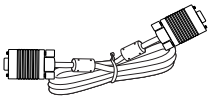
標準アクセサリ



プロジェクタ



電源コード



VGA ケーブル



リモート

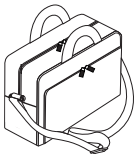


単 4 電池(2本)

- ☑ CD ユーザーマニュアル
- ☑ 保証書 *2
- ☑ クイック スタートカード

文書

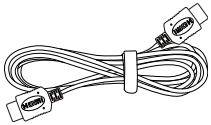
オプションのアクセサリ *1



キャリーバッグ



レンズキャップ



HDMI ケーブル

NOTE

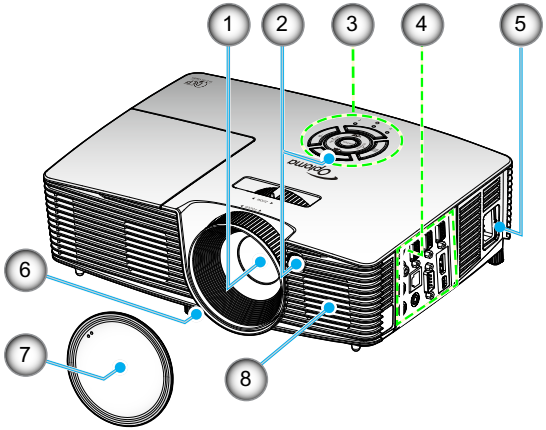
- *1 オプションのアクセサリは、モデル、仕様、地域によって異なります。
- *2 欧州向けの保証情報についてはwww.optomaeurope.comを訪問してください。

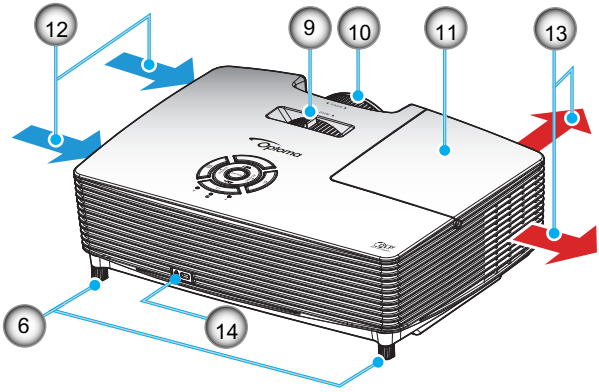
⚠ 警告 :

- 一部のプロジェクタにはレンズキャップが付属していません。レンズキャップが付属しているプロジェクタの場合、安全性を考慮して、プロジェクタの電源をオンにする前には、キャップをはずしてあることを確認してください。

製品の各部名称

本体





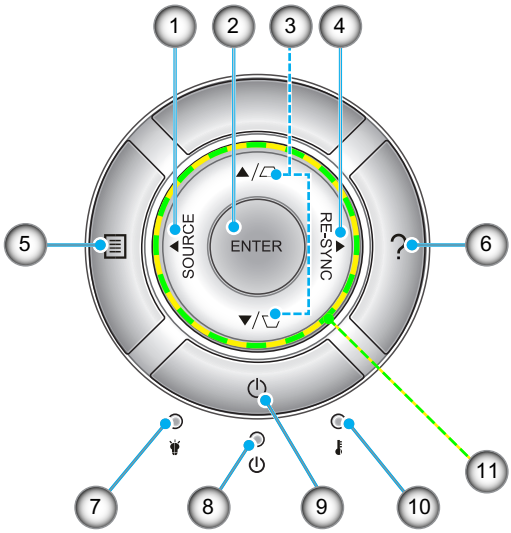
1. レンズ
2. IRレシーバー設定
3. キーパッド
4. 入/出力 接続端子
5. 電源ソケット
6. チルト調整フット
7. レンズキャップ (*)
8. スピーカ
9. ズームレバー
10. フォーカス リング
11. ランプカバー
12. 換気(吸気口)
13. 換気(排気口)
14. Kensington™ ロック ポート

- プロジェクタの換気口 (吸気/排気) を塞がないでください。
- (*) オプションアクセサリ。

警告 :

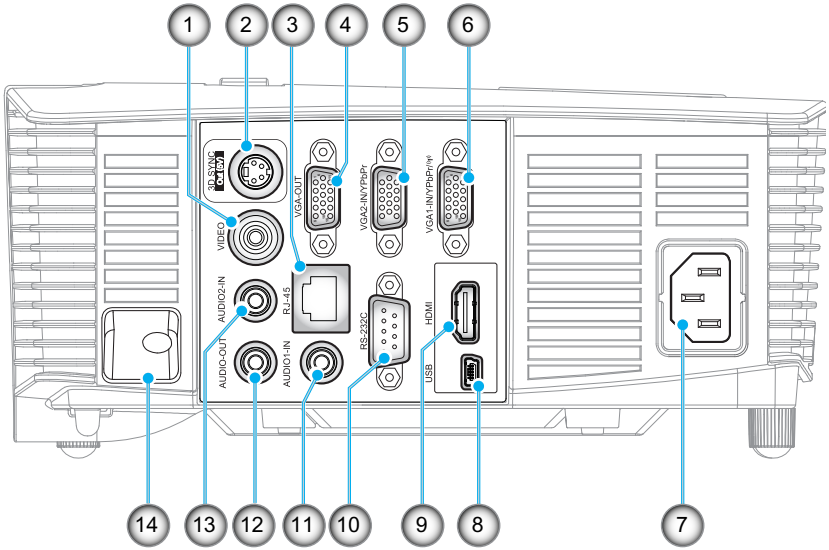
- 一部のプロジェクタにはレンズキャップが付属していません。レンズキャップが付属しているプロジェクタの場合、安全性を考慮して、プロジェクタの電源をオンにする前には、キャップをはずしてあることを確認してください。

キーパッド



1. Source
2. Enter
3. キーストーン補正
4. 再同期
5. Menu
6. ヘルプ
7. ランプ インジケータ LED
8. オン/スタンバイ LED
9. 消費電力
10. 温度インジケータ LED
11. 4方向選択キー

入/出力 接続端子



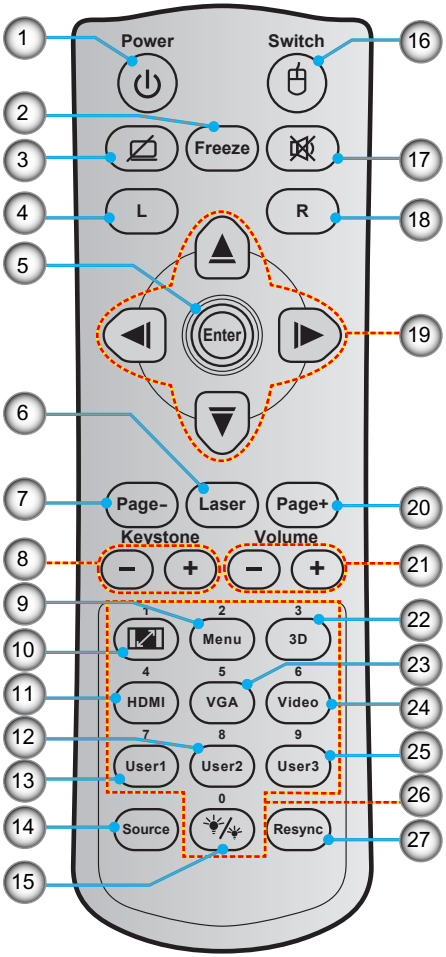
1. ビデオコネクタ
2. 3D 同期出力 (5V) 端子
3. RJ-45 コネクタ
4. VGA 出力コネクタ
5. VGA2 入力 / YPbPr コネクタ
6. VGA1 入力 / YPbPr / コネクタ
7. 電源ソケット
8. USB-B ミニ端子 (ファームウェアのアップグレード)
9. HDMI コネクタ
10. RS-232C コネクタ
11. オーディオ 1 入力コネクタ
12. オーディオ出力コネクタ
13. オーディオ 2 入力コネクタ
14. セキュリティ バー

NOTE

❖ リモートマウスには特別なリモートが必要です。

リモコン

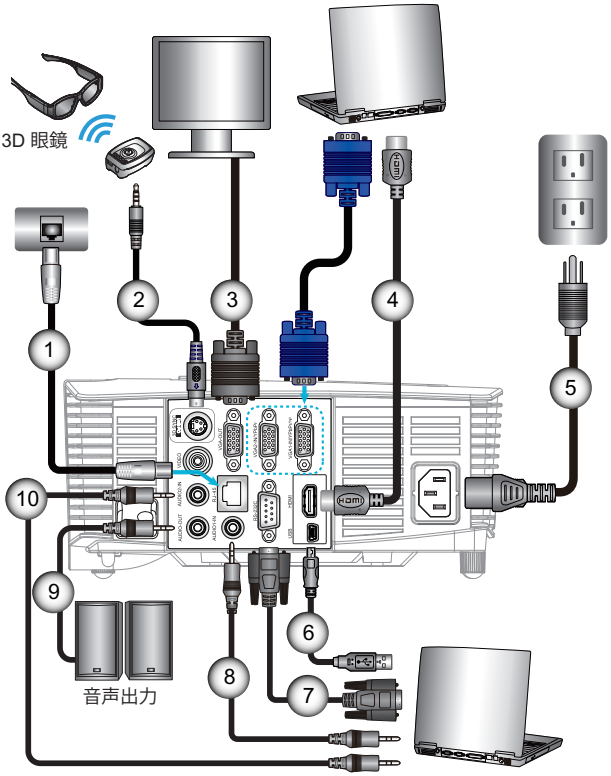
❖ キーによっては、これらの特長をサポートしていないモデルの機能がない場合があります。



1. 電源 オン/オフ
2. フリーズ
3. 空白画面をディスプレイ/オーディオ消音
4. マウスの左クリック
5. Enter
6. レーザー
7. ページ -
8. キーストーン +/-
9. Menu
10. アスペクト比
11. HDMI
12. ユーザー 2
13. ユーザー 1
14. ソース
15. 輝度モード
16. マウス オン/オフ
17. 消音
18. マウスの右クリック
19. 4 方向選択キー
20. ページ +
21. 音量 +/-
22. 3D メニュー オン/オフ
23. VGA
24. ビデオ
25. ユーザー 3
26. テンキー（0-9）
27. 再同期

プロジェクタへの接続

コンピュータ / ノート パソコンへの接続



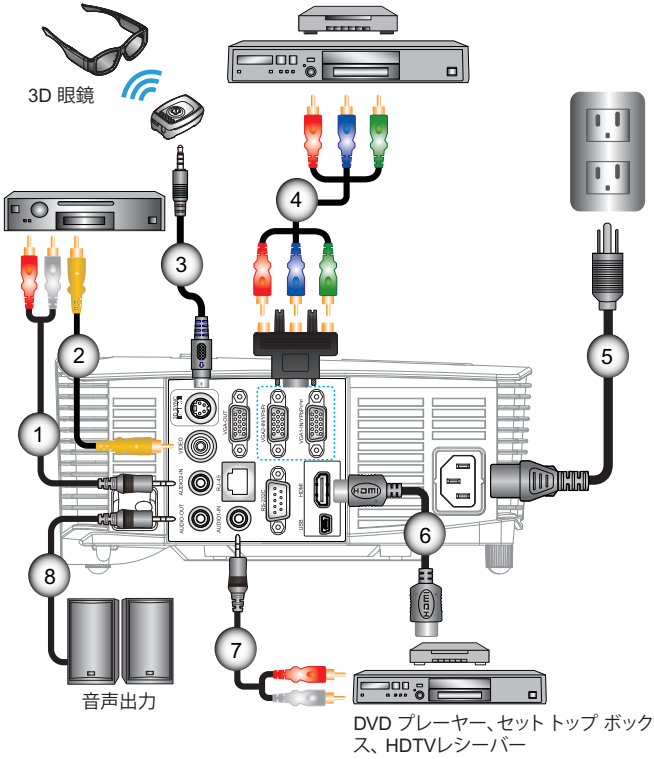
- 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- (*) オプションアクセサリ

1.	RJ-45 ケーブル
2.	*3D エミッターケーブル
3.	VGA ケーブル
4.	*HDMI ケーブル
5.	電源コード
6.	* USB ケーブル
7.	*RS-232C ケーブル
8.	*オーディオ 1 入力ケーブル
9.	* オーディオ出力ケーブル
10.	*オーディオ 2 入力ケーブル

設置方法

ビデオソースの接続

DVD プレーヤ、ブルーレイプレーヤ、セットトップボックス、HDTV レシーバ、ゲームコンソール



- 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- (*) オプションアクセサリ

1.....*オーディオ 2 入力ケーブル
2.....*ビデオケーブル
3.....*3D エミッターケーブル
4.....*3 RCA コンポーネント ケーブル
5.....電源コード
6.....*HDMI ケーブル
7.....*オーディオ 1 入力ケーブル
8.....* オーディオ出力ケーブル

3D ビデオデバイスへの接続

図のようにHDMIケーブルと機器を接続した場合、使用準備完了となります。3D ビデオソースと 3D プロジェクタの電源をオンにします。

❖ 3Dビデオソース機器は、3Dプロジェクタの前に、必ず電源を入れてください。

プレイステーション® 3つのゲーム

- 最新ソフトウェアバージョン向けにコンソールをアップデートされたか、ご確認ください。
- [設定メニュー -> 表示設定-> ビデオ出力-> HDMI]へお進みください。[Automatic]を選択し、画面上の指示に従ってください。
- 3Dゲームのディスクを挿入ください。または、PlayStation®ネットワーク経由でゲームをダウンロード（及び3Dのアップデート）することができます。
- ネットワーク ゲームのスタート。ゲームメニューで[3Dを起動]を選択ください。

Blu-ray 3D™ プレーヤー

- ご自身のプレーヤーが3D Blu-ray™ディスクに対応し、3D出力が可能か、ご確認ください。
- 3D Blu-ray™ディスクをプレーヤーに挿入し、[プレイ]を押してください。

3D TV (例、SKY 3D、DirecTV)

- ご自身のチャンネルパッケージにおいて、3Dチャンネルがあるかどうか、TVプログラムサービスプロバイダーにお問い合わせください。
- 使用可能となった場合、3Dチャンネルに切り替えてください。
- 並行する2つの画像が出現します。
- 3D プロジェクタの [Side By Side] に切り替えます。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレー」セクションにあります。

❖ 入力ビデオが通常の2Dの場合、「3D映像フォーマット」にするために「オート」を押し「オフ」に切り替えてください。

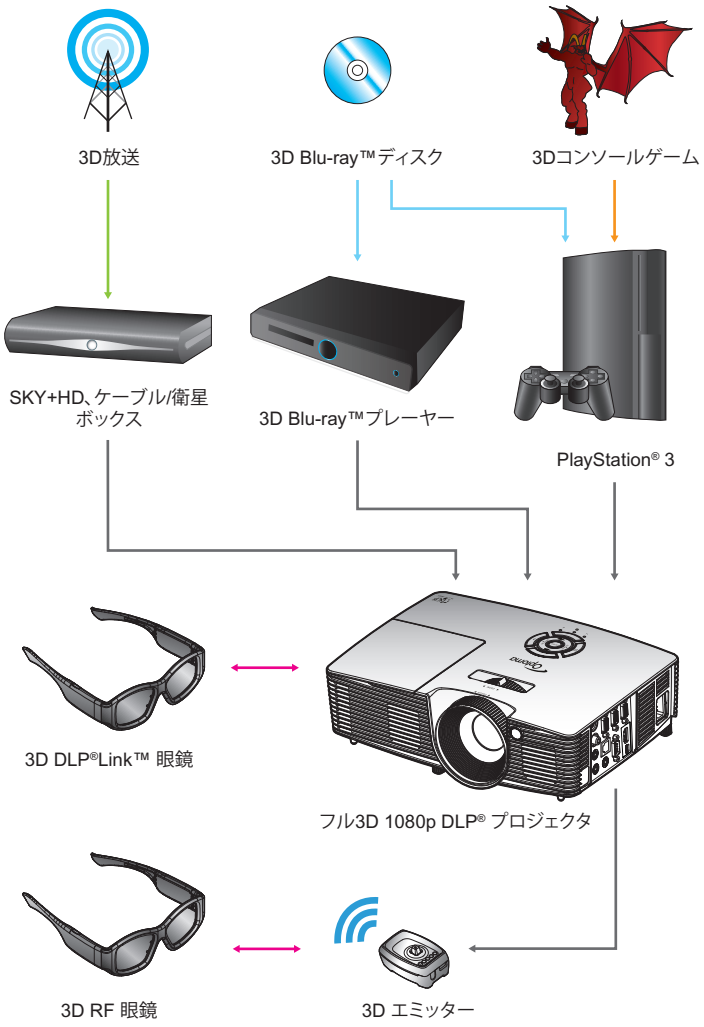
❖ 「Side By Side」が作動している場合、2Dビデオの内容は正しく表示されません。

2D 1080iサイドバイサイド信号出力を伴う3D 機器(例、3D DV/DC)

- 3D機器に接続し、2D サイドバイサイド出力を伴う 3D コンテンツから 3D プロジェクタに切り替えてください。
  - 並行する2つの画像が出現します。
- 3D プロジェクタの [Side By Side] に切り替えます。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレー」セクションにあります。

HDMI 1.4a ソース (例、3D Blu-ray) から 3D コンテンツを鑑賞する場合、常に 3D 眼鏡を同期する必要があります。HDMI 1.3 ソースから 3D コンテンツ (例、Side By Side モードを使用する 3D 放送) を鑑賞している場合、3D を最適化するために、プロジェクタの 3D 同期反転オプションを使用する必要があります。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレー ->3D」セクションにあります。

設置方法


3D放送
3D Blu-ray™ディスク
3Dコンソールゲーム
SKY+HD、ケーブル/衛星ボックス
3D Blu-ray™プレーヤー
PlayStation® 3
3D DLP®Link™ 眼鏡
フル3D 1080p DLP® プロジェクタ
3D RF 眼鏡
3D エミッター

❖ 更に詳細の情報につきましては、3D眼鏡ユーザーガイドをご参照ください。

3D眼鏡の使用

1. 3D眼鏡をオンにする。
2. 3D接続の検証がプロジェクタに送られ、信号がプロジェクタの仕様に対応します。
3. [3D モード](オフ / DLP リンク / VESA 3D - 使用している眼鏡のタイプによって異なります)をオンにします。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの[ディスプレー]セクションにあります。
4. 3D 眼鏡をオンにすると、眼の疲れなしの3Dで検証画像が表示されます。
5. 3Dで画像が表示されない場合、3D 画像が送信されているかどうか、3D機器設定をよくお確かめください。または、入力信号が2D 1080iサイドバイサイドの際、[Side By Side]がオンとなっているかお確かめの上、上述の1～4のステップを再試行してください。
6. 最高の 3D を体験するたには、プロジェクタの「3D同期反転」オプションを使用する必要があります。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレー」セクションにあります。
7. 3D眼鏡をオフにする:LEDスイッチがオフになるまで、[電源]ボタンを押し続けてください。
8. 設定についての更なる情報につきましては、3D眼鏡ユーザーガイドまたはメーカーサイトをご参照ください。

プロジェクタの電源オン/オフ

プロジェクタの電源オン

1. レンズ キャップを取り外します。❶
2. 電源コードとシグナルケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、オン/スタンバイ LED が赤く点灯します。
3. プロジェクタ上部またはリモコンの [⏻] ボタンを押して、ランプの電源を入れます。オン/スタンバイ LED が緑または青く点灯します。❷

   起動画面は約 10 秒後に表示されます。プロジェクタを初めて使用するとき、使用言語と省電力モードを選択するように求められます。
4. スクリーンに表示させたい（コンピュータ、ノート パソコン、ビデオ プレーヤーなど）ソースの電源を入れて、接続します。プロジェクタは、ソースを自動的に検出します。検出されない場合、[メニュー] ボタンを押して、[オプション] を開きます。
   [ソースロック] が [オフ] になっていることを確認します。

❖ 複数のソースを同時に接続している場合は、キーパッドの [SOURCE] ボタン、またはリモコンのダイレクトソースキーを押すことで、入力を切り換えることができます。

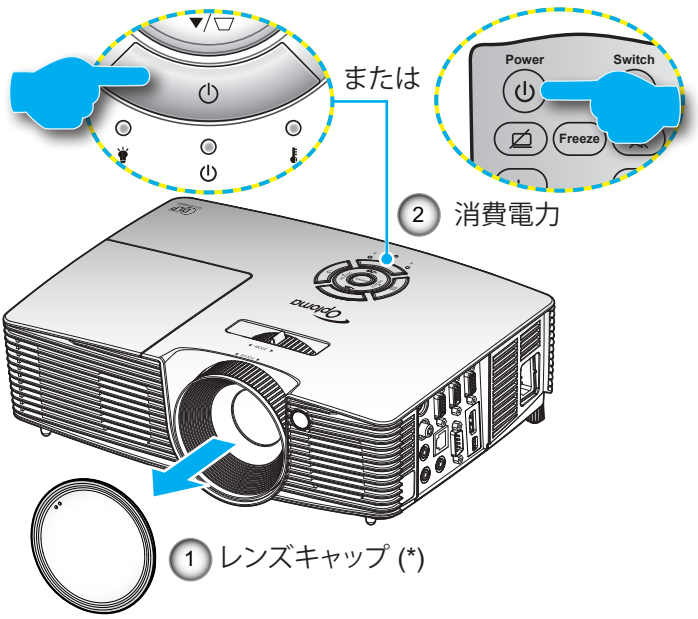
NOTE

❖ まず、プロジェクタの電源を入れた後、信号ソースを選択します。

❖ (*) オプションアクセサリ

⚠ 警告：

❖ 一部のプロジェクタにはレンズキャップが付属していません。レンズキャップが付属しているプロジェクタの場合、安全性を考慮して、プロジェクタの電源をオンにする前には、キャップをはずしてあることを確認してください。



プロジェクタの電源を切る

1. リモコンまたはキーパッドの [⏻] ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。画面上に次のメッセージが表示されます。



   [⏻] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に [⏻] ボタンを押すと、プロジェクタはカウントダウンタイマーを表示してシャットダウンします。

2. 冷却ファンは約10秒間作動し続けて冷却を行うと、オン/スタンバイLEDが緑または青く点滅します。オン/スタンバイLEDが赤色に点灯すると、プロジェクタはスタンバイモードに入っています。

   プロジェクタの電源を再び入れたい場合、プロジェクタが冷却サイクルを終了して、スタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、[⏻] ボタンを押すだけでプロジェクタを立ち上げることができます。

3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクタから抜きます。
4. 電源を切った直後は、プロジェクタの電源を入れないでください。

警告インジケータ



❖ プロジェクターにこれらの症状が現れる場合は、お近くのサービスセンターまでご連絡ください。詳細は、76-77 ページを参照してください。

警告インジケータ（以下を参照）がオンになると、プロジェクタは自動的にシャットダウンします:

- ❖ [ランプ] LED インジケータが赤く点灯し、[オン/スタンバイ] インジケータが赤色に点滅している場合。
- ❖ [温度] LED インジケータが赤く点灯し、[オン/スタンバイ] インジケータが赤く点滅している場合。この状態は、プロジェクタが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクタのスイッチをオンにすることができます。
- ❖ [温度] LED インジケータが赤く点滅し、[オン/スタンバイ] インジケータが赤く点滅している場合。

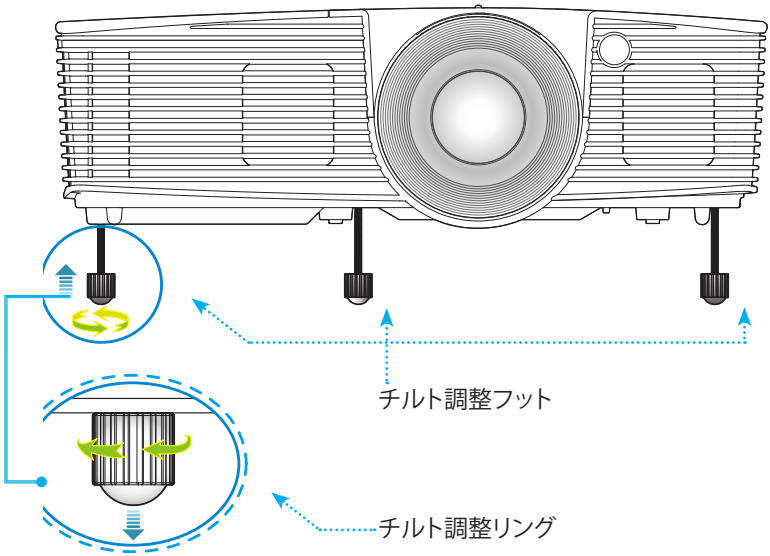
プロジェクタから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケータが再び点灯したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

投射画像の調整

プロジェクタの高さを調整する

本プロジェクタには、投射映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

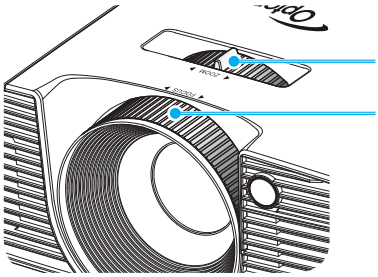
1. プロジェクタの底面の、変更したい調整フットを探します。
2. 調整リングを時計周りに回すとプロジェクタの高さが高くなり、反時計周りに回すと高さが下がります。必要に応じて、残りの足についてもこの手順を繰り返します。



プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する

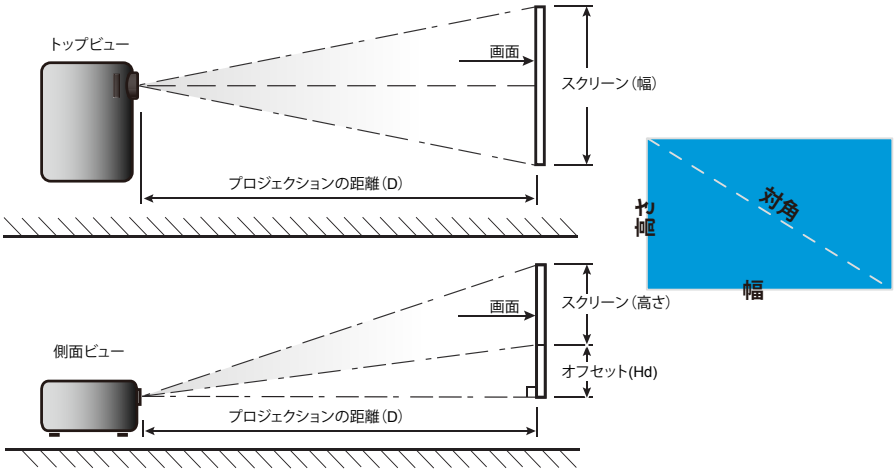
ズーム リングを回してズームイン/ズームアウトします。映像のピントを調節するには、くっきりした映像が表示されるように、フォーカス リングを回します。

- 標準投影シリーズ（XGA）:本プロジェクタは、1.2 ～ 10.0 メートル の距離内でピントを合わせることができます。
- 標準投影シリーズ（WXGA）:本プロジェクタは、1.2 ～ 8.3 メートルの距離内でピントを合わせることができます。



プロジェクタの画面サイズの調整

- 投影画像サイズ(XGA)は 0.78～7.81 メートルです。
  投影画像サイズ(WXGA)は 0.92～7.65 メートルです。



標準投影（XGA）

16:9 画面の対角長さ (インチ)	画面サイズ幅 x 高さ				プロジェクションの距離 (D)				オフセット(Hd)	
	(m)		(インチ)		(m)		(フィート)			
	幅	高さ	幅	高さ	幅	テレ	幅	テレ	(m)	(インチ)
30.0	0.61	0.46	24.00	18.00	0.98	1.17	3.2	3.84	0.07	2.70
40.0	0.81	0.61	32.00	24.00	1.30	1.56	4.27	5.12	0.09	3.60
60.0	1.22	0.91	48.00	36.00	1.95	2.34	6.40	7.68	0.14	5.40
70.0	1.42	1.07	56.00	42.00	2.28	2.73	7.47	8.96	0.16	6.30
80.0	1.63	1.22	64.00	48.00	2.60	3.12	8.53	10.24	0.18	7.20
90.0	1.83	1.37	72.00	54.00	2.93	3.51	9.60	11.52	0.21	8.10
100.0	2.03	1.52	80.00	60.00	3.25	3.90	10.67	12.80	0.23	9.00
120.0	2.44	1.83	96.00	72.00	3.90	4.68	12.80	15.36	0.27	10.80
150.0	3.05	2.29	120.00	90.00	4.88	5.85	16.00	19.20	0.34	13.50
180.0	3.66	2.74	144.00	108.00	5.85	7.02	19.20	23.04	0.41	16.20
250.0	5.08	3.81	200.00	150.00	8.13	9.75	26.67	32.00	0.57	22.50
300.0	6.10	4.57	240.00	180.00	9.75	11.70	32.00	38.40	0.69	27.00
307.0	6.24	4.68	245.60	184.20	9.98	11.98	32.75	39.30	0.70	27.63

❖ 上表は参考データです。

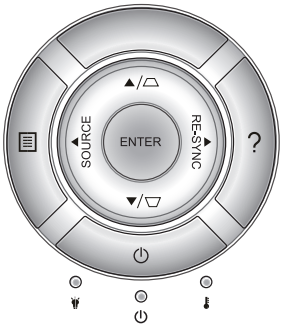
標準投影（WXGA）

16:9 画面の対角長さ (インチ)	画面サイズ幅 x 高さ				プロジェクションの距離 (D)				オフセット(Hd)	
	(m)		(インチ)		(m)		(フィート)			
	幅	高さ	幅	高さ	幅	テレ	幅	テレ	(m)	(インチ)
30.0	0.65	0.40	25.44	15.90	0.83	0.99	2.71	3.26	0.05	1.97
40.0	0.86	0.54	33.92	21.20	1.10	1.32	3.62	4.34	0.07	2.63
60.0	1.29	0.81	50.88	31.80	1.65	1.99	5.43	6.51	0.10	3.94
70.0	1.51	0.94	59.36	37.10	1.93	2.32	6.33	7.60	0.12	4.60
80.0	1.72	1.08	67.84	42.40	2.21	2.65	7.24	8.68	0.13	5.26
90.0	1.94	1.21	76.32	47.70	2.48	2.98	8.14	9.77	0.15	5.91
100.0	2.15	1.35	84.80	53.00	2.76	3.31	9.05	10.85	0.17	6.57
120.0	2.58	1.62	101.76	63.60	3.31	3.97	10.85	13.03	0.20	7.89
150.0	3.23	2.02	127.20	79.50	4.14	4.96	13.57	16.28	0.25	9.86
180.0	3.88	2.42	152.64	95.40	4.96	5.96	16.28	19.54	0.30	11.83
250.0	5.38	3.37	212.00	132.50	6.89	8.27	22.61	27.14	0.42	16.43
300.0	6.46	4.04	254.40	159.00	8.27	9.93	27.14	32.56	0.50	19.72

❖ 上表は参考データです。

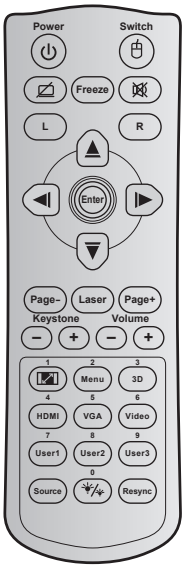
キーパッドおよびリモコン

キーパッド



キーパッドの使用		
電源	⏻	16～17ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」を参照してください。
再同期	RE-SYNC	プロジェクタが自動的に入力ソースと同期します。
ENTER	ENTER	選択した項目を確定します。
SOURCE	SOURCE	[SOURCE] を押して入力信号を選択します。
Menu	☰	[Menu] を押してオンスクリーン (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、もう一度 [Menu] を押します。
ヘルプ	?	ヘルプ メニュー (OSD メニューが表示されていない場合のみ使用可能)。
4方向選択キー		▲ ▼ ◀ ▶ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
キーストン	▱ / ▱	▱ ▱ を使用して、プロジェクタを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。(±40度)
ランプ インジケータ LED	○	プロジェクタのランプのステータスを表示します。
温度インジケータ LED	○	プロジェクタの温度ステータスを表示します。
オン/スタンバイ LED	○	プロジェクタのステータスを表示します。

リモコン





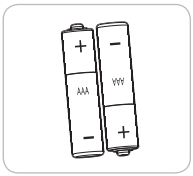
リモコンのボタン		
消費電力		押すとプロジェクタの電源がオン/オフになります。
スイッチ		押すとプロジェクタの USB マウスがオン/オフが切り替わります。
空白画面をディスプレイ/オーディオ消音		押すとスクリーンの画像が表示/非表示になり、オーディオのオフ/オンが切り替わります。
フリーズ		押すとプロジェクタの画像が一時停止します。
消音		押すと一時的に音声のオン/オフを切り換えることができます。
マウスの左クリック	L	マウスの左クリックとして使用します。
マウスの右クリック	R	マウスの右クリックとして使用します。
4 方向選択キー		▲ ▼ ◀▶を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
Enter		選択した項目を確定します。
ページ -		押すと前のページに戻ります。
レーザー		レーザーポインタとして使用します。
ページ +		押すと次のページに進みます。
キーストン		押すと、プロジェクタを斜め方向から投影することで生じる画像のゆがみを調整します。
音量		押すと音量の増減の調整ができます。
アスペクト比 / 1		▸これを押すと、表示画像のアスペクト比を変更できます。 ▸テンキーの [1] として使用します。
Menu / 2		▸押すとプロジェクタのオンスクリーン表示メニューを表示したり終了したりします。 ▸テンキーの [2] として使用します。

ユーザー管理



リモコンのボタン

3D / 3		▸押すと 3D コンテンツに一致する 3D モードを手動で選択できます。 ▸テンキーの [3] として使用します。
HDMI / 4		▸押して HDMI ソースを選択します。 ▸テンキーの [4] として使用します。
VGA / 5		▸押して VGA ソースを選択します。 ▸テンキーの [5] として使用します。
ビデオ / 6		▸押してコンポジット ビデオ ソースを選択します。 ▸テンキーの [6] として使用します。
ユーザー1 / 7、ユーザー2 / 8、ユーザー3 / 9		▸ユーザー定義キー。設定については 56 ページをご参照ください。 ▸それぞれテンキーの [7]、[8]、[9] として使用します。
ソース		押して入力信号を選択します。
輝度モード / 0	☀/✳	▸押すと、最適のコントラストパフォーマンスを発揮できるように画像の輝度を自動的に調整できます。 ▸テンキーの [0] として使用します。
再同期		押すと、プロジェクタが自動的に入力ソースと同期します。





電池の取り付け

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

メーカーが推奨するものと同一または同等の電池と交換してください。

注意事項

電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。必ず以下の指示に従ってください。

異なる種類の電池を混在させない。電池の種類によって特性が異なります。

古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。

使い切った電池はすぐに取り外す。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出ることがあります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。

本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。

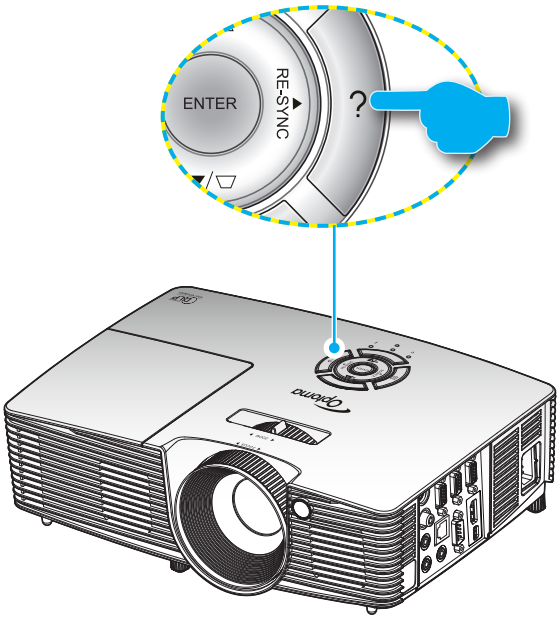
長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。

電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

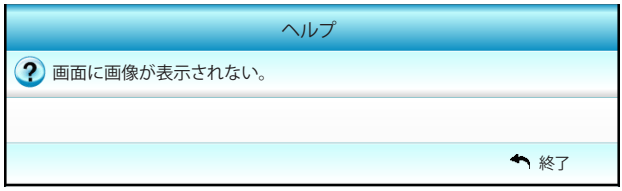
[HELP] ボタンを使用する

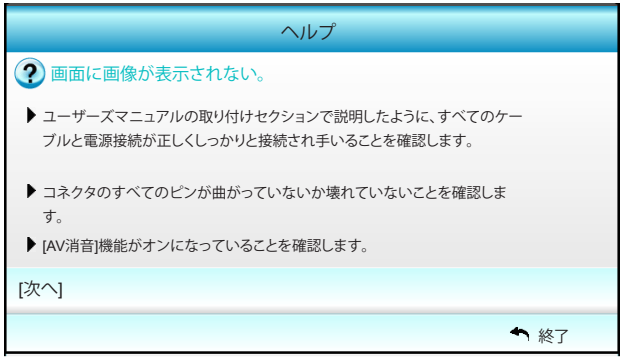
[ヘルプ] 機能は、設定と操作を容易にします。

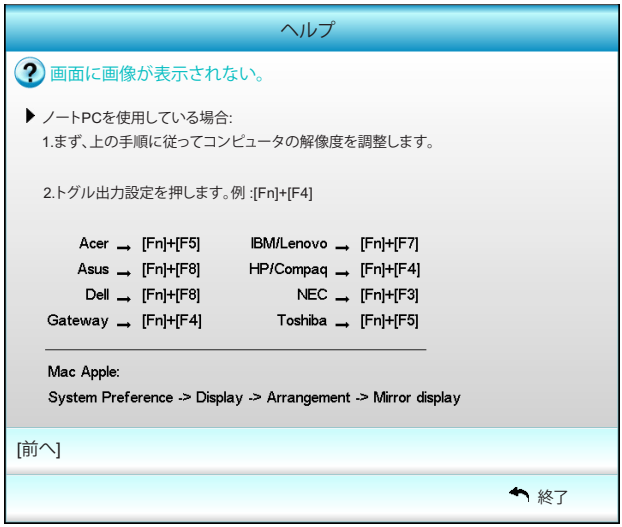
- キーパッドで [?] ボタンを押すと、[ヘルプ] メニューが開きます。



- [ヘルプ] メニューボタンは、入力ソースが検出されないときのみ機能します。



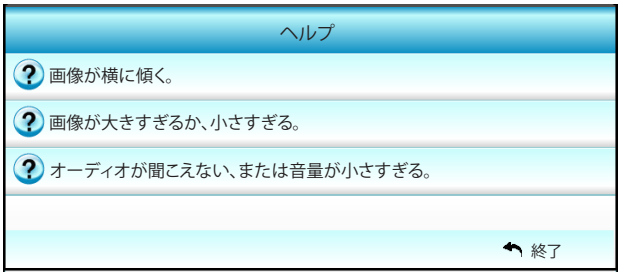


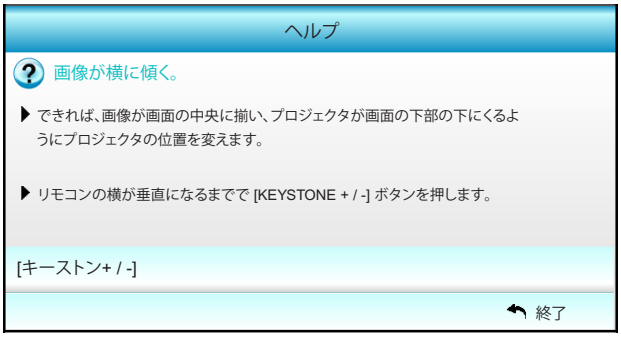


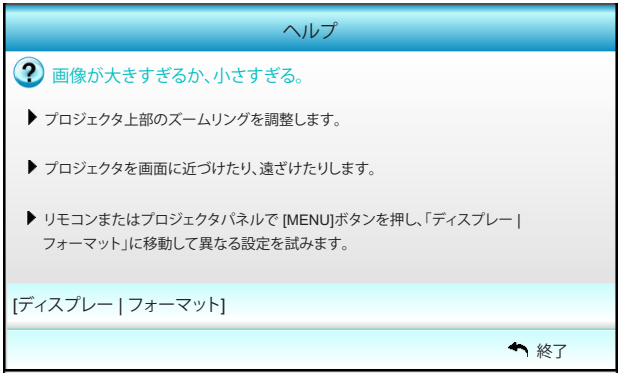
❖ 詳細については、60-62ページの「トラブルシューティング」セクションを参照してください。

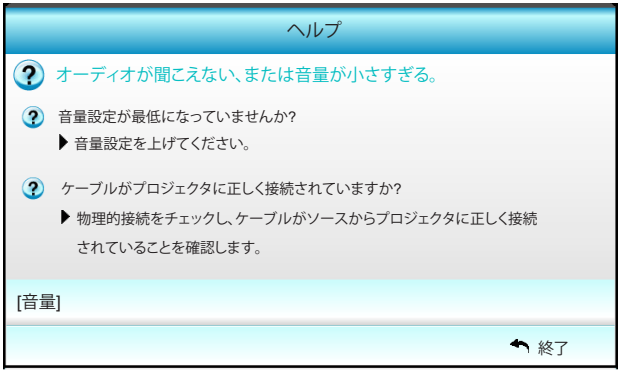
ユーザー管理

- 入力ソースが検出されヘルプボタンが押された場合、問題を診断できるように、次のページが表示されます。








ヘルプ
オーディオが聞こえない、または音量が小さすぎる。
音量設定が最低になっていませんか?
▶ 音量設定を上げてください。
ケーブルがプロジェクタに正しく接続されていますか?
▶ 物理的接続をチェックし、ケーブルがソースからプロジェクタに正しく接続されていることを確認します。
[音量]
終了

オンスクリーンディスプレーメニュー

本プロジェクタでは、多言語対応オンスクリーン メニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクタは、ソースを自動的に検出します。

操作方法

1. OSD メニューを開くには、リモコンまたはキーパッドの [Menu] ボタンを押します。
2 OSD が表示されたら、◀▶ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、▼ または [エンター (Enter)] キーを押してサブ メニューへ進みます。
3. ▲▼ キーを使ってサブメニューで希望のアイテムを選択し、▶ あるいは [エンター (Enter)] キーを押して詳細設定を表示します。◀▶ キーによって設定を調整します。
4. サブ メニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. [Enter] または [Menu] ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 [Menu] ボタンを押します。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクタは自動的に新しい設定を保存します。



メニュー ツリー（階層）

メイン メニュー	サブ メニュー		設定	
イメージ	ディスプレー モード			プレゼンテーション / 明るい / ムービー / sRGB / ブラックボード / DICOM SIM. / ユーザー / 3D
	輝度			-50~+50
	コントラスト			-50~+50
	シャープネス			1~15
	カラー			-50~+50
	色合い			-50~+50
	詳細	γ		映画 / ビデオ / グラフィック / 標準 / ブラックボード / DICOM SIM.
		BrilliantColor™		1～10
		色温度		暖色 / 中 / 冷色
		色設定	赤 / 緑 / 青 / 青緑色 / マゼンタ色 / 黄	色合い / 彩度 / ゲイン [-50~50]
			白	赤 / 緑 / 青 [-50~50]
			リセット	はい / いいえ
		色空間		HDMI 入力なし:オート / RGB / YUV
				HDMI 入力:オート / RGB(0~255) / RGB(16~235) / YUV
		信号	Automatic	オン / オフ
			位相 (VGA)	
			周波数 (VGA)	
			水平位置 (VGA)	
			垂直位置 (VGA)	
			終了	
		終了		
	リセット			はい / いいえ
ディスプレー	フォーマット		XGA:4:3, 16:9, ネーティブ, オート / WXGA:4:3、16:9 または 16:10、LBX、ネーティブ、オート	
	エッジマスク			0~10
	ズーム			-5~25
	映像移動調整	映像水平位置	右/左（中央のアイコン）	-100~+100
		映像垂直位置	上/下（中央のアイコン）	-100~+100
	垂直キーストン			-40~+40
	3D	3D モード	オフ / DLP リンク / VESA 3D	
		3D映像フォーマット	オート / Side By Side / Top and Bottom / Frame Sequential	
		3D -> 2D	3D / L / R	
		3D同期反転	オン / オフ	
		終了		
	終了			
設定	言語		English / Deutsch / Français / Italiano / Español / Português / Svenska / Nederlands / Norsk/Dansk / Polski / Русский / Suomi / ελληνικά / Magyar / Čeština / عربي / 繁體中文 / 简体中文 / 日本語 / 한국어 / ไทย / Türkçe / فارسی / Tiếng Việt / Română / Bahasa Indonesia	

ユーザー管理

メイン メニュー	サブ メニュー		設定	
	投射方式			
	メニュー位置			
	画面のタイプ			16:10 / 16:9（WXGA）
	音声設定	内蔵スピーカー		オン / オフ
		消音		オン / オフ
		音量		オーディオ (0~10)
		オーディオ入力		デフォルト / オーディオ 1 / オーディオ 2
		オーディオ出力(待機モード)		オン / オフ
		終了		
	セキュリティ	セキュリティ		オン / オフ
		セキュリティタイマー		月 (0~12 /)
				日 (0~30 /)
				時 (0~24 /)
				終了
		パスワード変更		
		終了		
	プロジェクター ID			00~99
	ネットワーク	LAN Settings	ネットワークのステータス	Connected / Disconnected（読み取り専用）
			DHCP	オン / オフ
			IPアドレス	
			サブネットマスク	
			ゲートウェイ	
			DNS	
			MAC Address	読み取り専用
			終了	
		Control Settings	Crestron	オン / オフ（ポート:41794）
			Extron	オン / オフ（ポート:2023）
			PJ Link	オン / オフ（ポート:4352）
			AMX Device Discovery	オン / オフ（ポート:1023）
			Telnet	オン / オフ（ポート:23）
			HTTP	オン / オフ（ポート:80）
			適用	はい / いいえ
	詳細	ロゴ	デフォルト / ニュートラル	
		ロゴキャプチャ		
		クローズドキャプション	オフ / CC1 / CC2	
		ワイヤレス	オン / オフ	
		終了		
	終了			
オプション	入力ソース		VGA1 / VGA2 / ビデオ / HDMI	
	ソースロック		オン / オフ	

メイン メニュー	サブ メニュー		設定	
	高度		オン / オフ	
	信号捜索情報隠し		オン / オフ	警告メッセージおよび電源オフを表示
	キーパッド ロック		オン / オフ	
	テストパターン		なし / グリッド / ホワイトパターン	
	IR機能		オン / オフ / 上端 / 前方IR	
	背景色		黒 / 赤 / 青 / 緑 / 白	
	ランプ設定	ランプ使用時間		0~ 9999
		ランプ警告	オン / オフ	
		ランプモード	明るい / エコ / ダイナミック省電モード / Eco+	
		ランプリセット	はい / いいえ	
		終了		
	リモート設定	ユーザー 1	VGA2 / LAN / 輝度 / コントラスト / Sleep Timer	
		ユーザー 2	VGA2 / LAN / 輝度 / コントラスト / Sleep Timer	
		ユーザー 3	VGA2 / LAN / 輝度 / コントラスト / Sleep Timer	
	詳細	電源探知オート パワー オン	オン / オフ	
		自動電源オフ(分)		0-180 [1 ステップ:5 分]
		スリープ タイマー(分)		0-990 [1 ステップ:30 分]
		Quick Resume	オン / オフ	
		電源モード(スタンバイ)	アクティブ / エコ	
	オプションのフィルターの設定	Filter Usage Hours		読み取り専用 [レンジ 0 ~9999]
		Optional Filter Installed		はい / いいえ
		エアフィルタ使用通知		オフ / 300 hr / 500 hr / 800 hr / 1000 hr
		エアフィルタ使用時間リセット		はい / いいえ
		終了		
	リセット		はい / いいえ	
	終了			

イメージ



ディスプレーモード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- プレゼンテーション:このモードは、PC に接続した状態でオーディエンスに公開する場合に適しています。
- 明るい:PC入力に対する最大輝度。
- ムービー:このモードはビデオ再生に適しています。
- sRGB:標準化された正確なカラー。
- ブラックボード:黒板(緑)上に投射する場合に、最適な色設定を得るために選択する必要があります。
- DICOM SIM.:このモードでは、X 線撮影、MRI などの医療用画像を白黒で投影することができます。
- ユーザー:ユーザー設定を保存します。
- 3D:3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意し、ご使用の PC /ポータブル機器が 120Hz 信号出力クワッドバッファ対応グラフィックカードを備わっており、3D プレーヤーがインストールされていることをご確認ください。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ◀を押すと画像が暗くなります。

- ▶ を押すと画像が明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。

- ◀を押すとコントラストが下がります。
- ▶ を押すとコントラストが上がります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◀を押すとシャープネスが弱まります。
- ▶ を押すとシャープネスが強まります。

カラー

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ◀を押すと画像の彩度が減少します。
- ▶ を押すと画像の彩度が増加します。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ◀を押し、画像の緑の量を増やします。
- ▶ を押し、画像の赤の量を増やします。

リセット

[はい] を選択すると「イメージ」の工場出荷時設定に戻ります。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

イメージ | 詳細



γ

これにより、γ のカーブタイプを設定できます。初期セットアップと微調整が完了したら、γ 調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- 映画:ホームシアター用。
- ビデオ:ビデオまたは TV ソース用。
- グラフィック:PC/フォトソース用。
- 標準:標準化された設定用。
- ブラックボード:黒板(緑)上に投射する場合に、最適な色設定を得るために選択する必要があります。
- DICOM SIM.:このモードでは、X 線撮影、MRI などの医療用画像を白黒で投影することができます。

BrilliantColor™

新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の、鮮やかなカラーを実現します。範囲は「1」から「10」の間です。画像をより強化したい場合は、最大設定方向に調整します。画像をよりスムーズに、より自然にしたい場合は、

最小設定方向に調整します。

色温度

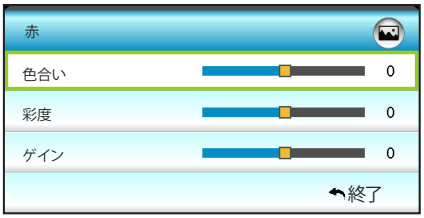
暖色、標準、冷色の中から色温度を選択します。

色設定

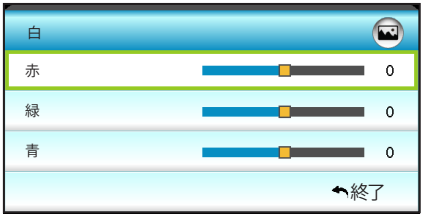
次のメニューで ▶ を押し、▲ か ▼ または ◀ か ▶ を使ってアイテムを選びます。



- 赤/緑/青/青緑色/マゼンタ色/黄:◀ または ▶ を使用して、色合い、彩度およびゲイン色を選択します。



- 白:◀ または ▶ を使用して、赤、緑および青色を選択します。



- リセット:[🔄]リセット を選択すると工場出荷時の色調整に戻ります。

色空間

以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します:

- HDMI 入力なし:オート、RGB または YUV
- HDMI 入力:オート、RGB(0~255)、RGB(16~235) または YUV

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

イメージ | 詳細 | 信号（RGB）



- [信号] は、アナログ VGA (RGB) 信号でのみサポートされます。
- [信号] が自動に設定されている場合、位相と周波数アイテムはグレー表示になります。[信号] が自動に設定されていない場合、ユーザーが設定を手動で調整し保存できるように位相と周波数アイテムが表示されます。この設定はプロジェクタをオフにして、再度オンにした後にも保存されています。

Automatic

信号を自動設定します。この機能を使用すると、位相と周波数アイテムはグレー表示になります。この機能が無効になっている場合、ユーザーが設定を手動で調整し保存できるように位相と周波数アイテムが表示されます。この設定はプロジェクタをオフにして、再度オンにした後にも保存されています。

位相

ディスプレーの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

周波数

お使いのコンピュータのグラフィックカードの周波数と一致するよう、表示データ周波数を変えてください。画像が垂直方向でちらついて見える場合のみ、この機能をお使いください。

水平位置

- ◀を押すと画像が左に移動します。
- ▶ を押すと画像が右に移動します。

垂直位置

- ◀を押すと画像が下に移動します。
- ▶ を押すと画像が上に移動します。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

ディスプレー



フォーマット

ここで好みのアスペクト比を選択します。

XGA

- 4:3:このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- 16:9:ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質の HDTVやDVDのような 16:9 入力用です。
- ネーティブ:このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- オート:適切なディスプレーフォーマットを自動的に選択します。

ソース	480i/p	576i/p	1080i/p	720p
4:3	1024 x 768 に調整します			
16:9	1024 x 576 に調整します			
ネーティブ	スケーリングなし。解像度は使用する入力ソースにより異なり、ソースに準じて表示されます。			
オート	▸ ソースが 4:3 の場合、サイズは自動的に 1024 x 768 に設定されます ▸ ソースが 16:9 の場合、サイズは自動的に 1024 x 576 に設定されます ▸ ソースが 15:9 の場合、サイズは自動的に 1024 x 614 に設定されます ▸ ソースが 16:10 の場合、サイズは自動的に 1024 x 640 に設定されます			

WXGA

- 4:3:このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- 16:9:ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質の HDTVやDVDのような 16:9 入力用です。
- 16:10:このフォーマットは ワイドスクリーン ラップトップ同様、16:10 入力ソース用です。
- LBX:16x9 ではないレターボックスソースを投影する場合や、外部 16x9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投影する場合に選択します。
- ネーティブ:このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- オート:適切なディスプレーフォーマットを自動的に選択します。

LBX モードに関する詳細情報:

1. 一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBX モードを使って 16:9 ディスプレーに画像を合わせることができます。
2. 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、このLBXモードによりアナモフィックワイドをサポートする2.35:1コンテンツ(アナモフィックDVDとHDTVフィルムソースを含む)を視聴することも可能で、ワイド2.35:1画像では16x9ディスプレーに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。ランプ電源と垂直方向の解像度がフル活用されます。

16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	960 x 720 に調整します				
16:9	1280 x 720 に調整します				
LBX	1280 x 960 に調整し、次に中央 1280 x 720 画像を表示します。				
ネーティブ	1:1 中央にマッピング		1:1 マッピング表示 1280 x 720	中央に表示 1280 x 720	1:1 中央にマッピング
オート	▸このフォーマットを選択すると、画面タイプは自動的に 16:9 (1280 x 720) に設定されます ▸ソースが 4:3 の場合、サイズは自動的に 960 x 720 に設定されます ▸ソースが 16:9 の場合、サイズは自動的に 1280 x 720 に設定されます ▸ソースが 15:9 の場合、サイズは自動的に 1200 x 720 に設定されます ▸ソースが 16:10 の場合、サイズは自動的に 1152 x 720 に設定されます				

16:10 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	1066 x 800 に調整します				
16:10	1280 x 800 に調整します				
LBX	1280 x 960 に調整し、次に中央 1280 x 800 画像を表示します。				
ネーティブ	1:1 中央にマッピング		1:1 マッピング表示 1280 x 800	中央に表示 1280 x 720	1:1 中央にマッピング
オート	▸ 入力ソースは 1280 x 800 表示に合わせて調整され、アスペクト比はもとの比率を保ちます ▸ ソースが 4:3 の場合、1066 x 800 に自動的にサイズ変更されます ▸ ソースが 16:9 の場合、1280 x 720 に自動的にサイズ変更されます ▸ ソースが 15:9 の場合、1280 x 768 に自動的にサイズ変更されます ▸ ソースが 16:10 の場合、1280 x 800 に自動的にサイズ変更されます				

- 各 I/O には別々の [エッジマスク] の設定があります。
- [エッジマスク] と [ズーム] は同時に機能できません。

エッジマスク

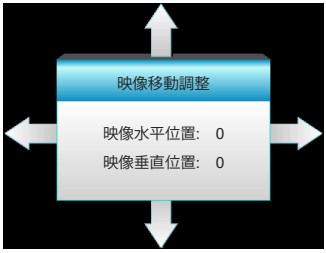
イメージをエッジマスクしてビデオ ソースのエッジのビデオ エンコード ノイズを削除します。

ズーム

- ◀ を押すと画像のサイズが小さくなります。
- ▶ を押すとスクリーンに投影された画像が拡大します。

映像移動調整

下図のように次のメニューで ▶ を押し、▲ か ▼ または ◀ か ▶ を使ってアイテムを選びます。



- 映像水平位置:◀▶ を押して、投影された画像位置を水平にシフトします。
- 映像垂直位置:▲▼ を押して、投影された画像位置を垂直にシフトします。

垂直キーストン

◀ または ▶ を押すと、画像の垂直の歪みが調整され正方形の画像が得られます。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

ディスプレー | 3D



3D モード

- オフ:[オフ] を選択すると、3D モードがオフになります。
- DLP リンク:[DLP リンク]を選択してDLPリンク3D眼鏡の最適化された設定を使用します。(15ページを参照してください)。
- VESA 3D:[VESA 3D]を選択して VESA 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。(15ページを参照してください)。

3D -> 2D

- 3D:3D 信号を表示します。
- L (左):3D コンテンツの左フレームを表示します。
- R (右):3D コンテンツの右フレームを表示します。

3D映像フォーマット

- オート:3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- Side By Side:[サイドバイサイド] フォーマットで3D信号を表示します。
- Top and Bottom:3D 信号を [Top and Bottom] フォーマットで表示します。
- Frame Sequential:3D 信号を [Frame Sequential] フォーマットで表示します。

3D同期反転

- 左右のフレームコンテンツを反転するには、[オン] を押します。
- デフォルトのフレームコンテンツの場合、[オフ] を押します。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

NOTE

- 3D 映像フォーマットは、69 ページの 3D タイミングでのみサポートされます。
- [3D映像フォーマット] は非HDMI 1.4a 3D タイミングでのみサポートされます。

設定



言語

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。サブメニューの ▶ を押し、▲ か ▼ または ◀ か ▶ キーを使ってお好みの言語を選択します。[Enter] を押して、パスワードを設定します。



ユーザー管理

投射方式

-  正面-投射

  これは、デフォルト設定です。画像がスクリーン上にまっすぐに投射されます。
-  裏面-卓上

  選択されると、画像を左右逆向きに表示します。
-  正面-天吊り

  選択されると、画像を上下逆向きに表示します。
-  裏面-天吊り

  選択されると、画像を上下・左右逆向きに表示します。

メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

画面のタイプ

16:10 または 16:9 から画面タイプを選択します。

プロジェクター ID

ID 定義をメニュー（0～99まで）で設定できます。ユーザーは RS232 で個別のプロジェクタをコントロールできるようになります。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

NOTE

❖ 裏面-卓上および裏面-天吊りは、透明なスクリーンを使用する際に使用できます。

NOTE

❖ [画面のタイプ] は WXGA 専用です。

設定 | 音声設定



❖ [消音] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。

内蔵スピーカー

内蔵スピーカーの [オン] または [オフ] を切り替えるには、[オン] または[オフ]を選択します。

消音

- [オン] を選択すると消音が有効になります。
- [オフ] を選択すると消音が無効になります。

音量

- ◀ を押すと音量が小さくなります。
- ▶ を押すと音量が大きくなります。

オーディオ入力

デフォルトの音声設定は、プロジェクタの背面パネルにあります。このオプションを使ってオーディオ入力 (1または2) を現在のイメージソースに再度適用します。それぞれのオーディオ入力は複数のビデオソースに割り当てることができます。

- デフォルト.
- オーディオ 1:VGA 1 および VGA 2。
- オーディオ 2:ビデオ。

オーディオ出力(待機モード)

オーディオ出力の [オン] または [オフ] を切り替えるには、[オン] または [オフ] を選択します。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

設定 | セキュリティ

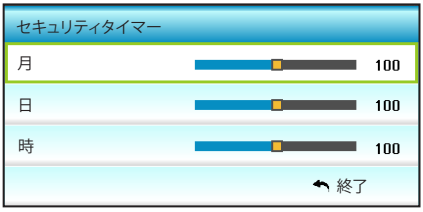


セキュリティ

- オン:[オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティー検証を行います。
- オフ:[オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクタの電源を入れることができます。

セキュリティタイマー

時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクタの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクタから再度パスワードを入力するよう要求されます。



❖ デフォルトのパスコードは、「1234」(初回時) です。



パスワード変更

- はじめて設定するとき:

1. [Enter] キーを押して、パスワードを設定します。
2. パスワードは4桁で設定します。
3. リモコンの数字ボタンまたは画面上のテンキーを押して新規パスワードを入力し、[Enter] キーで確定します。

- パスワード変更:
(リモートに数字キーパッドが付いていない場合、上下矢印を使用してパスワードのそれぞれの数字を変更し [Enter] を押して確認してください)

1. [Enter]を押して、古いパスワードを入力します。
2. 数字ボタンまたは画面上のテンキーを使用して現在のパスワードを入力し、[Enter] キーで確定します。
3. リモコンの数字ボタンを使って新しいパスワード(4桁)を入力し、[Enter] を押して確定します。
4. もう一度新しいパスワードを入力し、[Enter] を押して確定します。

- 間違ったパスワードを3回続けて入力すると、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。
- パスワードを忘れてしまった場合、お近くのサポートセンターにお問い合わせください。

設定 | ネットワーク| LAN Settings



ネットワークのステータス

ネットワーク接続状態を表示します。(読み取り専用)

MAC Address

MAC アドレスを表示します。(読み取り専用)

DHCP

- オン:プロジェクタがネットワークから自動的に IP アドレスを取得します。
- オフ:IP、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS 構成を手動で割り当てます。

既存の OSD が、入力した値を自動的に適用します。

IPアドレス

IP アドレスを表示します。

サブネットマスク

サブネットマスク番号を表示します。

ゲートウェイ

プロジェクタに接続しているネットワークのデフォルト ゲートウェイを表示します。

DNS

DNS 番号を表示します。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

Web ブラウザを使用してプロジェクタをコントロールする方法

1. DHCP サーバーが IP アドレスを自動的に割り当てられるよう、プロジェクタの DHCP オプションを [オン] にします。
2. PC で Web ブラウザを開き、プロジェクタの IP アドレスを入力します（**ネットワーク:LAN Settings > IPアドレス**）。
3. ユーザー名とパスワードを入力し、[**ログイン（Login）**] をクリックします。
   プロジェクタの構成 Web インターフェイスが開きます。

❖ デフォルトのユーザー名およびパスワードは「**admin**」です。

コンピュータからプロジェクタに直接接続しているとき*

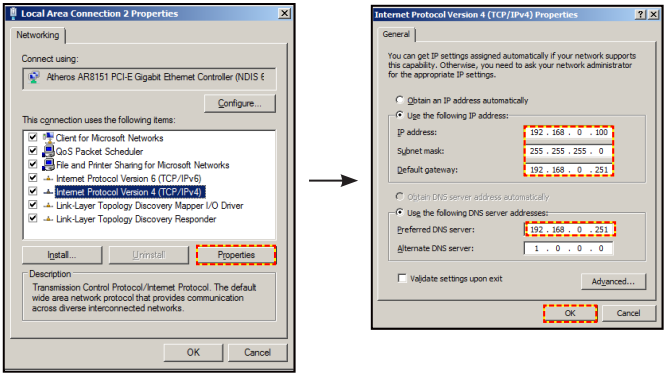
ステップ 1:プロジェクタのDHCP オプションを [オフ] にします。

ステップ 2:プロジェクタでIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSを構成します（**ネットワーク:LAN Settings**）。



❖ *このセクションの手順は Windows 7 オペレーティングシステムに基づいています。

ステップ 3:PC の「ネットワークと共有センター」のページを開き、プロジェクタに設定されている値と同一のネットワークパラメータを PC に割り当てます。[**OK**] をクリックしてパラメータを保存します。



ステップ 4:PC で Web ブラウザを開き、手順 3 で割り当てた IP アドレスを URL フィールドに入力します。続いて [**Enter**] キーを押します。

設定 | ネットワーク| Control Settings



Crestron

この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します（ポート:41794).
詳細は、http://www.crestron.com および
www.crestron.com/getroomview にアクセスしてください。

Extron

この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します（ポート:2023).

PJ Link

この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します（ポート:4352).

AMX Device Discovery

この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します（ポート:1023).

Telnet

この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します（ポート:23).

HTTP

この機能を使用して、ネットワーク機能を選択します（ポート:80).

適用

[▶] を押し、[はい] を選択して選択を適用します。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

設定 | 詳細



❖ ロゴキャプチャを正常に行うには、画面上のイメージがプロジェクタのネーティブ解像度を超えていないことを確認してください。(1080p: 1920 x 1080)。

ロゴ

この機能を使って希望のスタートアップスクリーンを設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- デフォルト:デフォルトの起動画面です。
- ニュートラル:ロゴは起動画面に表示されません。

ロゴキャプチャ

▶ を押すと、現在スクリーンに表示されている画像のイメージがキャプチャされます。

クローズドキャプション

「クローズドキャプション」はプログラムの音声あるいはその他の情報をテキストとして画面上に表示します。入力信号がクローズドキャプションを含んでいる場合、この機能をオンにしてチャンネルを閲覧することができます。◀ または ▶ を押して オフ、CCI、または CC2 を選択します。

ワイヤレス

ワイヤレス機能の [オン] または [オフ] を切り替えるには、[オン] または [オフ] を選択します。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

オプション



入力ソース

入力ソースを有効/無効にする際に使用します。▶ を押して、サブ メニューに入り、必要なソースを選択します。[Enter] を押して、パスワードを設定します。プロジェクタは、有効になっている入力のみを検索します。

ソースロック

- オン:プロジェクタは、現在の入力接続のみを検索します。
- オフ:現在の入力シグナルがない場合、プロジェクタは他のシグナルを検索します。

高度

[オン] が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

信号捜索情報隠し

- オン:[オン]を選択すると、[情報メッセージ] が非表示になります。
- オフ:[オフ]を選択すると、[検索中] メッセージが表示されます。

キーパッド ロック

キーボード ロック機能が [オン] の場合、キーパッドはロックされますが、プロジェクタはリモコンによって操作できます。[オフ] を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

テストパターン

テストパターンを表示します。グリッド、ホワイトパターン、なしがあります。



- [前方] および [上端] はスタンバイモードでは選択できません。
- NVIDIA により実装され認定された場合、IRモードを [NVIDIA 3D Vision] に切り替えることができます。

IR機能

- 全部:[全部] を選択すると、前方または上部 IRレシーバーからリモコンでプロジェクタを操作できます。
- 前方:[前方] を選択すると、IR レシーバーからリモコンでプロジェクタを操作できます。
- 上端:[上端] を選択すると、上部 IR レシーバーからリモコンでプロジェクタを操作できます。
- オフ:[オフ] を選択すると、前方または上部 IRレシーバーからリモコンでプロジェクタを操作できません。[オフ] を選択すると、キーパッドのキーを使用できるようになります。

オプション



背景色

信号が使用できないとき、この機能を使用して[黒]、[赤]、[青]、[緑]、[白]画面を表示します。

リセット

「はい」を選択するとすべてのメニューのディスプレーパラメータが工場出荷時設定に戻ります。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

オプション | ランプ設定



- 操作中に室温が40°Cを超えると、プロジェクタはエコモードに切り替わります。
- [ランプモード] は2D と 3D で独立して設定できます。
- ダイナミック省電モード—ランプの消費電力を動的に100%～30% の間で調整します。

ランプ使用時間

投射時間を表示します。

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。
メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

ランプモード

- 明るい:[明るい] を選択すると明るさが増します。
- エコ:[エコ] を選択するとプロジェクタランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を延長することができます。
- ダイナミック省電モード:[ダイナミック省電モード] を選択すると、コンテンツの輝度レベルを基にランプが薄暗くなるとともに、ランプの消費電力を動的に 100%～30% の間で調整します。これにより、ランプの寿命が長くなります。
- Eco+:Eco+ モードがアクティブになっているとき、コンテンツの輝度レベルが自動的に検出され、活動していない期間中ランプの消費電力を大幅に (最大 70%) 削減します。

ランプリセット

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

モードおよび機能別のランプの動作：

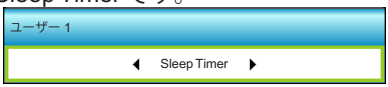
輝度モード	明るい	エコ	ダイナミック省電モード
ホワイトパターン	100%	80%	100%
調光範囲	該等なし	該等なし	100%~30%
ブラックパターン	100%	80%	30%（とても薄暗い）
AV 消音	30%（とても薄暗い）	30%（とても薄暗い）	30%（とても薄暗い）
Quick Resume	30%（とても薄暗い）	30%（とても薄暗い）	30%（とても薄暗い）

オプション | リモート設定



ユーザー 1

デフォルト値は Sleep Timer です。



次のメニューで ▶ を押し、◀ か ▶ を使用して [VGA2]、[LAN]、[輝度]、[コントラスト]、または [Sleep Timer] アイテムを選びます。

ユーザー 2

デフォルト値は VGA2 です。



次のメニューで ▶ を押し、◀ か ▶ を使用して [VGA2]、[LAN]、[輝度]、[コントラスト]、または [Sleep Timer] アイテムを選びます。

ユーザー 3

デフォルト値は LAN です。



次のメニューで ▶ を押し、◀ か ▶ を使用して [VGA2]、[LAN]、[輝度]、[コントラスト]、または [Sleep Timer] アイテムを選びます。

オプション | 詳細



電源探知オート パワー オン

[オン] を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクタは、AC電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクタのキーパッドまたはリモコンの [⏻] キーを押す必要はありません。

自動電源オフ(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクタへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクタの電源が切れます(単位は分です)。

スリープ タイマー(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクタへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクタの電源が切れます(単位は分です)。

Quick Resume

- オン:プロジェクタが間違ってオフになった場合、100 秒以内に選択すると、この機能によりプロジェクタの電源を直ちにオンにできます。
- オフ:プロジェクタをオフにすると、システムは 10 秒後に冷却を開始します。

電源モード(スタンバイ)

- エコ:[エコ]を選択すると、節電モードになります(<0.5W)。
- アクティブ:シグナル電源オンが有効でない場合、「アクティブ」を選択し、ネットワークスタンバイに戻ります。VGA出力ポートが有効になり、電源消費が6.0Wを下回ります。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

NOTE

- スリープタイマーの値は、プロジェクタの電源がオフになった後にゼロにリセットされます。
- カウントダウンが完了すると、このプロジェクターは自動的に電源が切れます。初期設定は20秒です。

オプション | オプションのフィルターの設定



❖ Filter Usage Hours / エアフィルタ使用通知 / エアフィルタ使用時間リセット] は [Optional Filter Installed] が [はい] の場合にのみ表示されます。

Filter Usage Hours

エアマスク使用時間を表示します。

Optional Filter Installed

- はい:使用時間が500 時間を超えると警告メッセージが表示されます。
- いいえ:警告メッセージをオフにします。

エアフィルタ使用通知

フィルタ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。(工場出荷時設定:500 時間)

エアフィルタ使用時間リセット

ダスト エアマスクの交換または洗浄後、ダスト エアマスク カウンタをリセットしてください。

終了

[終了] を選択するとメニューが終了します。

トラブルシューティング

プロジェクタに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

スクリーンに画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- 映写用ランプがしっかり取り付けられているか、チェックします。「ランプの交換」をご参照ください。
- レンズキャップを取り外し、プロジェクタのスイッチがオンになっていることを確認します。
- 「AV 消音」機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- レンズのキャップを取り外していることを確認してください。
- プロジェクタレンズのフォーカスリングで調整してください。
- 投射画面がプロジェクタから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(20～21ページを参照してください)

16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクタはプロジェクタ側で16:9フォーマットで最高の画像を表示します。
- LBXフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタのOSDでLBXとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタOSDで4:3としてフォーマットを変更してください。
- それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を 変更する必要があります:
- お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

画像が大きすぎるか、小さすぎる。

- プロジェクタ上部のズームレバーを調整します。
- プロジェクタを画面に近づけたり、遠ざけたりします。
- プロジェクタパネルの [Menu] を押し、[ディスプレー-->フォーマット] に進みます。別の設定を試してみます。

画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクタがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- 調整を行うには、OSDから [ディスプレー-->垂直キーストン] を使用します。

画像が反転する

- OSDから [設定-->投射方式] を選択し、投射方向を調整します。

ぼやけた二重画像

- 通常の 2D 画像がぼやけた二重画像にならないよう、[3D映像フォーマット] ボタンを押して [オフ] にしてください。

2つの画像、サイドバイサイドフォーマット

- 入力信号が HDMI 1.3 2D 1080i サイドバイサイドとなるように、[3D映像フォーマット] ボタンを押して [Side By Side] に切り替えてください。

3Dで画像が表示されません

- 3D眼鏡のバッテリーが十分かどうか、ご確認ください。
- 3D眼鏡がオンになっているかどうか、ご確認ください。
- 入力信号が HDMI 1.3 2D (1080i サイドバイサイド) になっているとき、[3D映像フォーマット] ボタンを押して [Side By Side] に切り替えてください。

その他の問題

プロジェクタがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクタの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。 この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクタの電源を入れることはできません。「ランプの交換」に記載の手順に従ってランプを交換してください。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクタのIRレシーバーから水平および垂直方向に±15°以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクタとの間に障害物がないことを 確認する。プロジェクタから6 m以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

LED 点灯メッセージ

Message	⏻ ○ 電源 LED	温度インジケータ LED	ランプ インジケータ LED
	（赤/緑/青）	（赤）	（赤）
待機状態 (入力コード)	赤	○	○
電源オン(ウォーミング)	青/緑に点滅	○	○
ランプ点灯	緑/青	○	○
電源オフ(冷却)	緑/青に点滅。 赤（冷却ファンがオフ）	○	○
Quick Resume(100 秒)	青/緑に点滅	○	○
エラー (過熱)	赤色に点滅	☼	○
エラー（ファントラブル）	赤色に点滅	点滅	
エラー（ランプトラブル）	赤色に点滅		☼

NOTE

❖ 点灯 ⇨ ☼
消灯 ⇨ ○

オンスクリーン メッセージ

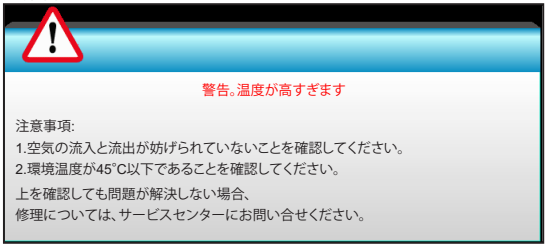
❖ パワーオフ:



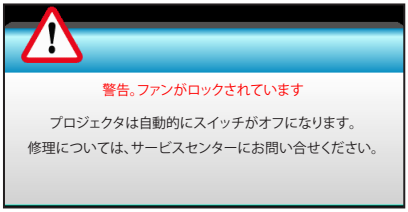
❖ ランプ警告:



❖ 温度警告:



❖ ファンのトラブル:



❖ 表示範囲外:



ランプの交換

プロジェクタはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。



このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクタが十分に放熱するまで約 30 分お待ちください。

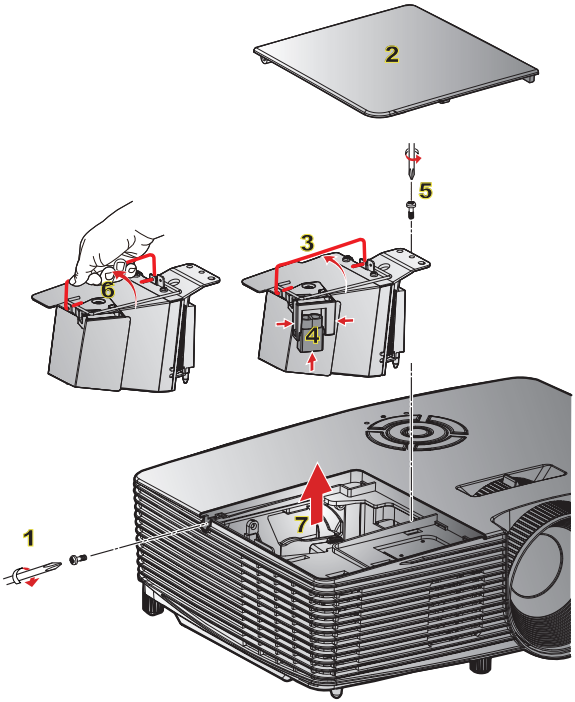


警告:天上から吊り下げる場合、ランプ アクセス パネルを開けるときは注意してください。天井から吊り下げている状態で電球を交換する場合、安全メガネを着用することをお勧めします。「プロジェクタからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります」。

警告:ランプコンパートメントは熱くなっています! 放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください!

警告:怪我を防止するため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

付録



- ランプ カバーとランプに付いたネジを外すことはできません。
- プロジェクタにランプ カバーが戻されなかった 場合、プロジェクタは動作しません。
- ランプのガラス部分には、触れないようにしてくださi. 手の油分が付着すると、ランプが破裂する恐れがあります。誤ってガラス部分に触れてしまった場合は、乾いた布を使ってランプモジュールを拭いてください。

ランプ交換手順:

1. リモコンまたはプロジェクタのキーパッドにある [⏻] ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。
2. ランプが十分に冷めるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. カバーにある 1 本のネジをゆるめます。1
5. カバーを押し上げて、取り外します。2
6. ランプハンドルを持ち上げます。3
7. 両側を押して持ち上げ、ランプコードを取り外します。4
8. ランプ モジュールにある 1 本のネジをゆるめます。5
9. ランプ ハンドル 6 を持ち上げて、ランプ モジュールをゆっくりと注意深く移動します。7

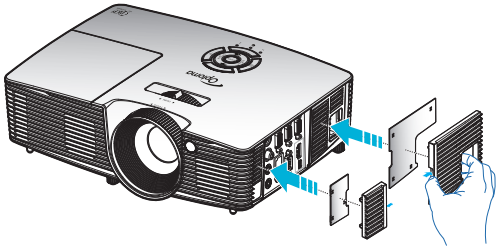
ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。

10. プロジェクタの電源をオンにし、ランプのタイマーをリセットします。

ランプリセット:(i) [Menu] を押し → (ii) [オプション] を選択し → (iii) [ランプ設定] を選択し → (iv) [ランプリセット] を選択し → (v) [はい] を選択します。

ダストフィルタの取り付けと洗浄

ダストフィルタの取り付け

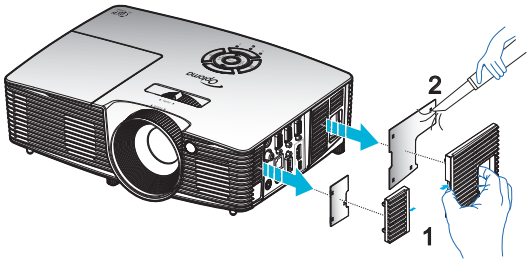


ダストフィルタの洗浄

ダストフィルタは 3 ヶ月ごとに洗浄することをお勧めします。埃の多い環境でプロジェクタを使用する場合は洗浄の頻度を多くしてください。

手順:

1. リモコンまたはプロジェクタのキーパッドにある [⏻] ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。
2. 電源コードを外します。
3. ダストフィルタをゆっくりと注意深く取り外します。
4. ダストフィルタを洗浄するか交換します。
5. ダストフィルタを取り付けるには、上記の手順を逆に繰り返します。



NOTE

- ダストフィルタは、埃が過度に多い選ばれた地域のみに必要または供給されます。

互換モード

HDMI の互換性

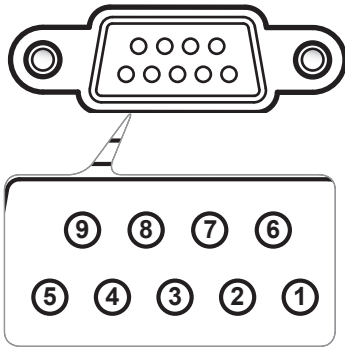
デジタル		
B0 / 確立タイミング	B0 / 標準タイミング	B0 / 詳細タイミング:
720 x 400 @ 70Hz 640 x 480 @ 60Hz 640 x 480 @ 67Hz 640 x 480 @ 72Hz 640 x 480 @ 75Hz 800 x 600 @ 56Hz 800 x 600 @ 60Hz 800 x 600 @ 72Hz 800 x 600 @ 75Hz 832 x 624 @ 75Hz 1024 x 768 @ 60Hz 1024 x 768 @ 70Hz 1024 x 768 @ 75Hz 1280 x 1024 @ 75Hz 1152 x 870 @ 75Hz	XGA / WXGA 1440 x 900 @ 60Hz 1024 x 768 @ 120Hz 1280 x 800 @ 60Hz 1280 x 1024 @ 60Hz 1680 x 1050 @ 60Hz 1280 x 720 @ 60Hz 1280 x 720 @ 120Hz 1600 x 1200 @ 60Hz	ネーティブタイミング: XGA:1024 x 768 @ 60Hz WXGA:1280 x 800 @ 60Hz、1280 x 720 @ 60Hz 1080P:1920 x 1080 @ 60Hz
B1 / ビデオモード	B1 / 詳細タイミング:	
640 x 480p @ 60Hz 720 x 480p @ 60Hz 1280 x 720p @ 60Hz 1920 x 1080i @ 60Hz 720 (1440) x 480i @ 60Hz 1920 x 1080p @ 60Hz 720 x 576p @ 50Hz 1280 x 720p @ 50Hz 1920 x 1080i @ 50Hz 720(1440) x 576i @ 50Hz 1920 x 1080p @ 50Hz 1920 x 1080p @ 24Hz 1920 x 1080p @ 30Hz	720 x 480p @ 60Hz 1280 x 720p @ 60Hz 1366 x 768 @ 60Hz 1920 x 1080i @ 50Hz 1920 x 1080p @ 60Hz	

3D 入力ビデオ互換

入力解像度	入力タイミング		
HDMI 1.4b 3D 入力	1280 x 720p @ 50Hz	最上部から底部まで	
	1280 x 720p @ 60Hz	最上部から底部まで	
	1280 x 720p @ 50Hz	フレームパッキング	
	1280 x 720p @ 60Hz	フレームパッキング	
	1920 x 1080i @ 50Hz	サイドバイサイド(ハーフ)	
	1920 x 1080i @ 60Hz	サイドバイサイド(ハーフ)	
	1920 x 1080p @ 24Hz	最上部から底部まで	
	1920 x 1080p @ 24Hz	フレームパッキング	
HDMI 1.4b 3D コンテンツ	1920 x 1080i @ 50Hz	サイドバイサイド (ハーフ)	3D 映像フォーマットが [Side By Side] の間
	1920 x 1080i @ 60Hz		
	1280 x 720p @ 50Hz		
	1280 x 720p @ 60Hz		
	800 x 600 @ 60Hz		
	1024 x 768 @ 60Hz		
	1280 x 800 @ 60Hz		
	1920 x 1080i @ 50Hz	最上部から底部まで	3D 映像フォーマットが [Top and Bottom] の間
	1920 x 1080i @ 60Hz		
	1280 x 720p @ 50Hz		
	1280 x 720p @ 60Hz		
	800 x 600 @ 60Hz		
	1024 x 768 @ 60Hz		
	1280 x 800 @ 60Hz		
	480i	HQFS	3D 映像フォーマットが [Frame Sequential] の間

RS232 コマンドとプロトコル機能リスト

RS232ピン割り当て



Pin 番号	仕様 (プロジェクタ側から)
1	該等なし
2	RXD
3	TXD
4	該等なし
5	GND
6	該等なし
7	該等なし
8	該等なし
9	該等なし

NOTE

- RS232 シェルは接地されます。

RS232プロトコル機能リスト

1. すべての ASCII コマンドの後には <CR> が付きます。
2. 0D は、ASCII コードでの <CR>に対する HEX コードです。

通信速度:9600
データビット:8
パリティ:なし
停止ビット:1
フロー制御:なし
UART16550 FIFO:無効
プロジェクタ復帰(成功):P
プロジェクタ復帰(失敗):F

XX=01-99、プロジェクタの ID、
XX=00はすべてのプロジェクタ用です

SEND to projector

232 ASCII Code	HEX Code	Function		Description
~XX00 1	7E 30 30 30 30 20 31 0D	Power ON		
~XX00 0	7E 30 30 30 30 20 30 0D	Power OFF		(0/2 for backward compatible)
~XX00 1 ~nnnn	7E 30 30 30 30 20 31 20 a 0D	Power ON with Password		~nnnn = ~0000 (a=7E 30 30 30 30) ~9999 (a=7E 39 39 39 39)
~XX01 1	7E 30 30 30 31 20 31 0D	Resync		
~XX02 1	7E 30 30 30 32 20 31 0D	AV Mute	On	
~XX02 0	7E 30 30 30 32 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX03 1	7E 30 30 30 33 20 31 0D	Mute	On	
~XX03 0	7E 30 30 30 33 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX04 1	7E 30 30 30 34 20 31 0D	Freeze		
~XX04 0	7E 30 30 30 34 20 30 0D	Unfreeze	(0/2 for backward compatible)	
~XX05 1	7E 30 30 30 35 20 31 0D	Zoom Plus		
~XX06 1	7E 30 30 30 36 20 31 0D	Zoom Minus		
~XX12 1	7E 30 30 31 32 20 31 0D	Direct Source Commands	HDMI	
~XX12 5	7E 30 30 31 32 20 35 0D		VGA1	
~XX12 6	7E 30 30 31 32 20 36 0D		VGA 2	
~XX12 8	7E 30 30 31 32 20 38 0D		VGA1 Component	
~XX12 10	7E 30 30 31 32 20 31 30 0D		Video	
~XX12 13	7E 30 30 31 32 20 31 33 0D		VGA 2 Component	
~XX20 1	7E 30 30 32 30 20 31 0D	Display Mode	Presentation	
~XX20 2	7E 30 30 32 30 20 32 0D		Bright	
~XX20 3	7E 30 30 32 30 20 33 0D		Movie	
~XX20 4	7E 30 30 32 30 20 34 0D		sRGB	
~XX20 5	7E 30 30 32 30 20 35 0D		User	
~XX20 7	7E 30 30 32 30 20 37 0D		Blackboard	
~XX20 9	7E 30 30 32 30 20 39 0D		3D	
~XX20 13	7E 30 30 32 30 21 33 0D		DICOM SIM.	
~XX21 n	7E 30 30 32 31 20 a 0D	Brightness		n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX22 n	7E 30 30 32 32 20 a 0D	Contrast		n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX23 n	7E 30 30 32 33 20 a 0D	Sharpness		n = 1 (a=31) ~ 15 (a=31 35)
~XX24 n	7E 30 30 32 34 20 a 0D	Color Settings/White	Red	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX25 n	7E 30 30 32 35 20 a 0D		Green	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX26 n	7E 30 30 32 36 20 a 0D		Blue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX33 1	7E 30 30 33 33 20 31 0D		Reset	
~XX34 n	7E 30 30 33 34 20 a 0D	BrilliantColor™		n = 1 (a=30) ~ 10 (a=31 30)
~XX35 1	7E 30 30 33 35 20 31 0D	Gamma	Film	
~XX35 2	7E 30 30 33 35 20 32 0D		Video	
~XX35 3	7E 30 30 33 35 20 33 0D		Graphics	
~XX35 4	7E 30 30 33 35 20 34 0D		Standard	
~XX36 1	7E 30 30 33 36 20 31 0D	Color Temp.	Warm	
~XX36 2	7E 30 30 33 36 20 32 0D		Medium	
~XX36 3	7E 30 30 33 36 20 33 0D		Cold	
~XX37 1	7E 30 30 33 37 20 31 0D	Color Space	Auto	
~XX37 2	7E 30 30 33 37 20 32 0D		RGB\RGB(0-255)	
~XX37 3	7E 30 30 33 37 20 33 0D		YUV	
~XX37 4	7E 30 30 33 37 20 34 0D		RGB(16-235)	
~XX73 n	7E 30 30 37 33 20 a 0D	Signal	Frequency	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By signal
~XX91 n	7E 30 30 39 31 20 a 0D		Automatic	n = 0 disable; n = 1 enable
~XX74 n	7E 30 30 37 34 20 a 0D		Phase	n = 0 (a=30) ~ 31 (a=33 31) By signal
~XX75 n	7E 30 30 37 35 20 a 0D		H. Position	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By timing
~XX76 n	7E 30 30 37 36 20 a 0D		V. Position	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By timing
~XX45 n	7E 30 30 34 34 20 a 0D	Color (Saturation)		n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX44 n	7E 30 30 34 35 20 a 0D	Tint		n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)

~XX60 1	7E 30 30 36 30 20 31 0D	Format	4:3	
~XX60 2	7E 30 30 36 30 20 32 0D		16:9	
~XX60 3	7E 30 30 36 30 20 33 0D		16:10(WXGA)	
~XX60 5	7E 30 30 36 30 20 35 0D		LBX(WXGA)	
~XX60 6	7E 30 30 36 30 20 36 0D		Native	
~XX60 7	7E 30 30 36 30 20 37 0D		Auto	
~XX61 n	7E 30 30 36 31 20 a 0D	Edge mask		n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)
~XX62 n	7E 30 30 36 32 20 a 0D	Zoom		n = -5 (a=2D 35) ~ 25 (a=32 35)
~XX63 n	7E 30 30 36 33 20 a 0D	H Image Shift		n = -100 (a=2D 31 30 30) ~ 100 (a=31 30 30)
~XX64 n	7E 30 30 36 34 20 a 0D	V Image Shift		n = -100 (a=2D 31 30 30) ~ 100 (a=31 30 30)
~XX66 n	7E 30 30 36 36 20 a 0D	V Keystone		n = -40 (a=2D 34 30) ~ 40 (a=34 30)
~XX230 0	7E 30 30 32 33 30 20 30 0D	3D Mode	OFF	
~XX230 1	7E 30 30 32 33 30 20 31 0D	3D Mode	DLP-Link	
~XX230 3	7E 30 30 32 33 30 20 31 0D	3D Mode	VESA 3D	
~XX400 0	7E 30 30 34 30 30 20 30 0D	3D→2D	3D	
~XX400 1	7E 30 30 34 30 30 20 31 0D		L	
~XX400 2	7E 30 30 34 30 30 20 32 0D		R	
~XX405 0	7E 30 30 34 30 35 20 30 0D	3D Format	Auto	
~XX405 1	7E 30 30 34 30 35 20 31 0D		SBS	
~XX405 2	7E 30 30 34 30 35 20 32 0D		Top and Bottom	
~XX405 3	7E 30 30 34 30 35 20 33 0D		Frame sequential	
~XX231 0	7E 30 30 32 33 31 20 30 0D	3D Sync Invert	On	
~XX231 1	7E 30 30 32 33 31 20 31 0D	3D Sync Invert	Off	
~XX70 1	7E 30 30 37 30 20 31 0D	Language	English	
~XX70 2	7E 30 30 37 30 20 32 0D		German	
~XX70 3	7E 30 30 37 30 20 33 0D		French	
~XX70 4	7E 30 30 37 30 20 34 0D		Italian	
~XX70 5	7E 30 30 37 30 20 35 0D		Spanish	
~XX70 6	7E 30 30 37 30 20 36 0D		Portuguese	
~XX70 7	7E 30 30 37 30 20 37 0D		Polish	
~XX70 8	7E 30 30 37 30 20 38 0D		Dutch	
~XX70 9	7E 30 30 37 30 20 39 0D		Swedish	
~XX70 10	7E 30 30 37 30 20 31 30 0D		Norwegian/Danish	
~XX70 11	7E 30 30 37 30 20 31 31 0D		Finnish	
~XX70 12	7E 30 30 37 30 20 31 32 0D		Greek	
~XX70 13	7E 30 30 37 30 20 31 33 0D		Traditional Chinese	
~XX70 14	7E 30 30 37 30 20 31 34 0D		Simplified Chinese	
~XX70 15	7E 30 30 37 30 20 31 35 0D		Japanese	
~XX70 16	7E 30 30 37 30 20 31 36 0D		Korean	
~XX70 17	7E 30 30 37 30 20 31 37 0D		Russian	
~XX70 18	7E 30 30 37 30 20 31 38 0D		Hungarian	
~XX70 19	7E 30 30 37 30 20 31 39 0D		Czechoslovak	
~XX70 20	7E 30 30 37 30 20 32 30 0D		Arabic	
~XX70 21	7E 30 30 37 30 20 32 31 0D		Thai	
~XX70 22	7E 30 30 37 30 20 32 32 0D		Turkish	
~XX70 23	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Farsi	
~XX70 25	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Vietnamese	
~XX70 26	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Indonesian	
~XX70 27	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Romanian	
~XX71 1	7E 30 30 37 31 20 31 0D	Projection	Front-Desktop	
~XX71 2	7E 30 30 37 31 20 32 0D		Rear-Desktop	
~XX71 3	7E 30 30 37 31 20 33 0D		Front-Ceiling	
~XX71 4	7E 30 30 37 31 20 34 0D		Rear-Ceiling	
~XX72 1	7E 30 30 37 32 20 31 0D	Menu Location	Top Left	
~XX72 2	7E 30 30 37 32 20 32 0D		Top Right	
~XX72 3	7E 30 30 37 32 20 33 0D		Centre	
~XX72 4	7E 30 30 37 32 20 34 0D		Bottom Left	
~XX72 5	7E 30 30 37 32 20 35 0D		Bottom Right	
(WXGA only)				
~XX90 1	7E 30 30 39 31 20 31 0D	Screen Type	16:10	
~XX90 0	7E 30 30 39 31 20 30 0D		16:9	
~XX77 n	7E 30 30 37 37 20 aabbcc 0D	Security	Security Timer	Month/Day/Hour n = mm/dd/hh mm= 00 (aa=30 30) ~ 12 (aa=31 32) dd = 00 (bb=30 30) ~ 30 (bb=33 30) hh= 00 (cc=30 30) ~ 24 (cc=32 34)
~XX78 1	7E 30 30 37 38 20 31 0D		Security Settings	Enable
~XX78 0 ~nnnn	7E 30 30 37 38 20 32 20 a 0D			Disable(0/2 for backward compatible) ~nnnn = ~0000 (a=7E 30 30 30 30) ~9999 (a=7E 39 39 39 39)
~XX79 n	7E 30 30 37 39 20 a 0D	Projector ID		n = 00 (a=30 30) ~ 99 (a=39 39)
~XX80 1	7E 30 30 38 30 20 31 0D	Mute	On	
~XX80 0	7E 30 30 38 30 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX310 0	7E 30 33 31 30 20 30 0D	Internal Speaker	Off	
~XX310 1	7E 30 33 31 30 20 31 0D		On	
~XX81 n	7E 30 30 38 31 20 a 0D	Volume (Audio)		n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)
~XX82 1	7E 30 30 38 32 20 31 0D	Logo	Default	
~XX82 3	7E 30 30 38 32 20 33 0D		Neutral	

~XX88 0	7E 30 30 38 38 20 30 0D	Closed Captioning	Off	
~XX88 1	7E 30 30 38 38 20 31 0D		cc1	
~XX88 2	7E 30 30 38 38 20 32 0D		cc2	
~XX89 0	7E 30 30 38 39 20 30 0D	Audio Input	Default	
~XX89 1	7E 30 30 38 39 20 31 0D		Audio1	
~XX89 3	7E 30 30 38 39 20 33 0D		Audio2(SVGA2, SVGA3, XGA1, XGA2, WXGA)	
~XX454 0	7E 30 30 34 35 34 20 30 0D	Crestron	Off	
~XX454 1	7E 30 30 34 35 34 20 31 0D		On	
~XX455 0	7E 30 30 34 35 35 20 30 0D	Extron	Off	
~XX455 1	7E 30 30 34 35 35 20 31 0D		On	
~XX456 0	7E 30 30 34 35 36 20 30 0D	PJLink	Off	
~XX456 1	7E 30 30 34 35 36 20 31 0D		On	
~XX457 0	7E 30 30 34 35 37 20 30 0D	AMX Device Discovery	Off	
~XX457 1	7E 30 30 34 35 37 20 31 0D		On	
~XX458 0	7E 30 30 34 35 38 20 30 0D	Telnet	Off	
~XX458 1	7E 30 30 34 35 38 20 31 0D		On	
~XX459 0	7E 30 30 34 35 38 20 30 0D	HTTP	Off	
~XX459 1	7E 30 30 34 35 38 20 31 0D		On	
~XX100 1	7E 30 30 31 30 30 20 31 0D	Source Lock	On	
~XX100 0	7E 30 30 31 30 30 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX101 1	7E 30 30 31 30 31 20 31 0D	High Altitude	On	
~XX101 0	7E 30 30 31 30 31 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX102 1	7E 30 30 31 30 32 20 31 0D	Information Hide	On	
~XX102 0	7E 30 30 31 30 32 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX103 1	7E 30 30 31 30 33 20 31 0D	Keypad Lock	On	
~XX103 0	7E 30 30 31 30 33 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX195 0	7E 30 30 31 39 35 20 30 0D	Test Pattern	None	
~XX195 1	7E 30 30 31 39 35 20 31 0D		Grid	
~XX195 2	7E 30 30 31 39 35 20 32 0D		White Pattern	
~XX11 0	7E 30 30 31 31 20 30 0D	IR Function	Off	
~XX11 1	7E 30 30 31 31 20 31 0D		On	
~XX11 2	7E 30 30 31 31 20 32 0D		Front	
~XX11 3	7E 30 30 31 31 20 33 0D		Top	
~XX104 1	7E 30 30 31 30 34 20 31 0D	Background Color	Blue	
~XX104 2	7E 30 30 31 30 34 20 32 0D		Black	
~XX104 3	7E 30 30 31 30 34 20 33 0D		Red	
~XX104 4	7E 30 30 31 30 34 20 34 0D		Green	
~XX104 5	7E 30 30 31 30 34 20 35 0D		White	
~XX105 1	7E 30 30 31 30 35 20 31 0D	Advanced	Direct Power On	On
~XX105 0	7E 30 30 31 30 35 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX106 n	7E 30 30 31 30 36 20 a 0D		Auto Power Off (min)	n = 0 (a=30) ~ 180 (a=31 38 30)
~XX107 n	7E 30 30 31 30 37 20 a 0D		Sleep Timer (min)	n = 0 (a=30) ~ 990 (a=39 39 39)
~XX115 1	7E 30 30 31 31 35 20 31 0D		Quick Resume	On
~XX115 0	7E 30 30 31 31 35 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX114 1	7E 30 30 31 31 34 20 31 0D		Power Mode(Standby)	Eco.(<=0.5W)
~XX114 0	7E 30 30 31 31 34 20 30 0D			Active (0/2 for backward compatible)
~XX109 1	7E 30 30 31 30 39 20 31 0D		Lamp Reminder	On
~XX109 0	7E 30 30 31 30 39 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX110 1	7E 30 30 31 31 30 20 31 0D		Brightness Mode	Bright
~XX110 2	7E 30 30 31 31 30 20 32 0D			Eco
~XX110 3	7E 30 30 31 31 30 20 33 0D			Eco
~XX110 4	7E 30 30 31 31 30 20 34 0D			Dynamic
~XX111 1	7E 30 30 31 31 31 20 31 0D		Lamp Reset	Yes
~XX111 0	7E 30 30 31 31 31 20 30 0D			No (0/2 for backward compatible)
~XX322 0	7E 30 30 33 32 32 20 30 0D	Filter Reminder		Off
~XX322 1	7E 30 30 33 32 32 20 31 0D			300 hr
~XX322 2	7E 30 30 33 32 32 20 32 0D			500 hr
~XX322 3	7E 30 30 33 32 32 20 33 0D			800 hr
~XX322 4	7E 30 30 33 32 32 20 34 0D			1000 hr
~XX323 1	7E 30 30 33 32 33 20 31 0D	Filter Reset		Yes
~XX323 0	7E 30 30 33 32 33 20 30 0D			No
~XX112 1	7E 30 30 31 31 32 20 31 0D	Reset		Yes
~XX99 1	7E 30 30 39 39 20 31 0D	RS232 Alert Reset	Reset System Alert	
~XX210 n	7E 30 30 32 30 30 20 n 0D	Display message on the OSD		n: 1-30 characters

SEND to emulate Remote

~XX140 10	7E 30 30 31 34 30 20 31 30 0D		Up
~XX140 11	7E 30 30 31 34 30 20 31 31 0D		Left
~XX140 12	7E 30 30 31 34 30 20 31 32 0D		Enter (for projection MENU)
~XX140 13	7E 30 30 31 34 30 20 31 33 0D		Right
~XX140 14	7E 30 30 31 34 30 20 31 34 0D		Down
~XX140 15	7E 30 30 31 34 30 20 31 35 0D		Keystone +
~XX140 16	7E 30 30 31 34 30 20 31 36 0D		Keystone –
~XX140 17	7E 30 30 31 34 30 20 31 37 0D		Volume –
~XX140 18	7E 30 30 31 34 30 20 31 38 0D		Volume +
~XX140 19	7E 30 30 31 34 30 20 31 39 0D		Brightness
~XX140 20	7E 30 30 31 34 30 20 32 30 0D		Menu
~XX140 21	7E 30 30 31 34 30 20 32 31 0D		Zoom
~XX140 28	7E 30 30 31 34 30 20 32 38 0D		Contrast
~XX140 47	7E 30 30 31 34 30 20 34 37 0D		Source

SEND from projector automatically

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
		System status	INFOn	n : 0/1/2/3/4/5/6/7/8 = Standby/Warming/Cooling/Out of Range/ Lamp fail/Fan Lock/Over Temperature/Lamp Hours Running Out

READ from projector

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
~XX121 1	7E 30 30 31 32 31 20 31 0D	Input Source Commands	OKn	n: 0/1/2/3/5= None/VGA1/VGA2/Video/HDMI
~XX122 1	7E 30 30 31 32 32 20 31 0D	Sofware Version	OKdddd	dddd: FW version
~XX123 1	7E 30 30 31 32 33 20 31 0D	Display Mode	OKn	n: 0/1/2/3/4/5/6/7 None/Presentation/Bright/Movie/sRGB/User/Blackboard/3D
~XX124 1	7E 30 30 31 32 34 20 31 0D	Power State	OKn	n : 0/1 = Off/On
~XX125 1	7E 30 30 31 32 35 20 31 0D	Brightness	OKn	n = -50 ~ 50
~XX126 1	7E 30 30 31 32 36 20 31 0D	Contrast	Okn	n = -50 ~ 50
~XX127 1	7E 30 30 31 32 37 20 31 0D	Aspect Ratio	OKn	n : 0/1/2/3 = 4:3/16:9/Native/AUTO (XGA) n: 0/1/2/3/4 = 4:3/16:9 or 16:10/LBX/Native/AUTO (WXGA) *16:9 or 16:10 depend on Screen Type setting
~XX128 1	7E 30 30 31 32 38 20 31 0D	Color Temperature	OKn	n : 0/1/2 = Warm/Medium/Cold
~XX129 1	7E 30 30 31 32 39 20 31 0D	Projection Mode	OKn	n : 0/1/2/3 = Front-Desktop/Rear-Desktop/Front-Ceiling/Rear-Ceiling
~XX150 1	7E 30 30 31 35 30 20 31 0D	Information	OKabbbbccdddde	a : 0/1 = Off/On bbbb: Lamp Hour cc: source 00/01/02/03/05/= None/VGA1/VGA2/Video/HDMI dddd: FW version e : Display mode 0/1/2/3/4/5/6/7/8 None/Presentation/Bright/Movie/sRGB/User/Blackboard/DICOM SIM./3D
~XX151 1	7E 30 30 31 35 31 20 31 0D	Model name	OKn	n:1/2= XGA/ WXGA
~XX108 1	7E 30 30 31 30 38 20 31 0D	Lamp Hours	OKbbbb	bbbb: Lamp Hour
~XX108 2	7E 30 30 31 30 38 20 31 0D	Cumulative Lamp Hours	OKbbbbb	bbbbb: (5 digits) Total Lamp Hours
~XX321 1	7E 30 30 33 32 31 20 31 0D	Filter Usage Hours	OKbbbb	bbbb: Filter Usage Hours

天井への取り付け

1. プロジェクタの損傷を防ぐため、必ずOptoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクタを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してくださ い:
   - ネジの種類:M4*3
   - 最小ネジ長:10mm

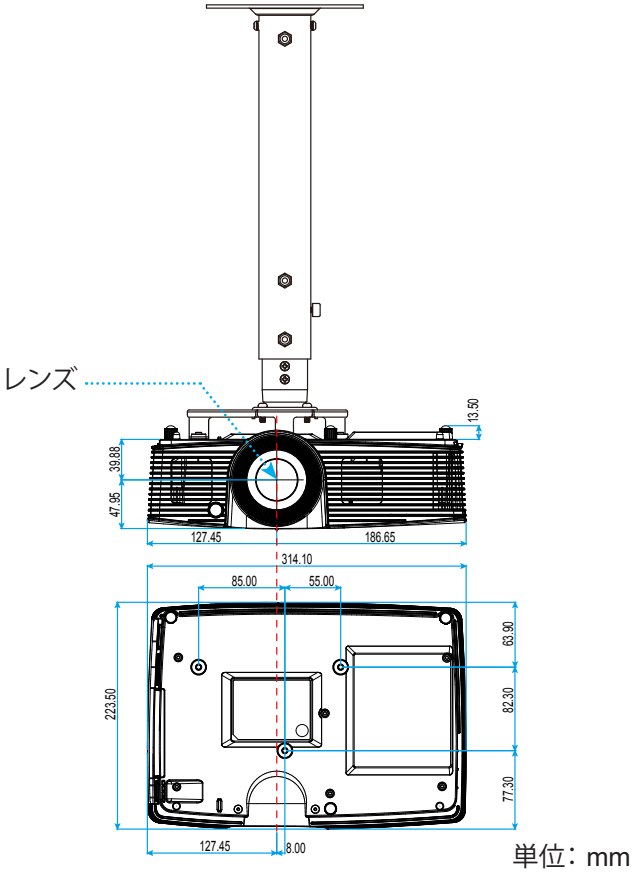
NOTE

❖ プロジェクタを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。

NOTE

⚠ 警告:

1. 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
2. プロジェクタの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
3. プロジェクタは、熱源の近くに設置しないで下さい。



単位: mm

Optoma社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

アメリカ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

カナダ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

中南米及びメキシコ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

ヨーロッパ

42 Caxton Way,The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire,
WD18 8QZ, UK
www.optoma.eu
サービスダイヤル:+44 (0)1923 691865

+44 (0) 1923 691 800
+44 (0) 1923 691 888
service@tsc-europe.com

Benelux BV

Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

+31 (0) 36 820 0253
+31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

+33 1 41 46 12 20
+33 1 41 46 94 35
savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro,36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
スペイン

+34 91 499 06 06
+34 91 670 08 32

ドイツ

Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany

+49 (0) 211 506 6670
+49 (0) 211 506 66799
info@optoma.de

スカンディナビア

Lerpeveien 25
3040 Drammen
ノルウェー

+47 32 98 89 90
+47 32 98 89 99
info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
ノルウェー

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F,Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
seoul,135-815, KOREA

+82+2+34430004
+82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター:0120-380-495

info@os-worldwide.com
www.os-worldwide.com

台湾

12F., No.213, Sec. 3, Beixin Rd.,
Xindian Dist., New Taipei City 231,
Taiwan, R.O.C.
www.optoma.com.tw

+886-2-8911-8600
+886-2-8911-6550
services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong

+852-2396-8968
+852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China

+86-21-62947376
+86-21-62947375
www.optoma.com.cn

規制と安全に関する通知

当付録はプロジェクタ総則の一覧です。

FCC通告

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください:

- ❖ 受信アンテナの再設定又は移動。
- ❖ 本装置と受信機の距離を離す。
- ❖ 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- ❖ 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意:シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC15章に準拠しています。運転は、以下の2つの状況を前提とします:

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意:カナダにお住まいのユーザーへ

当クラスBデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国への適合宣言

- EMC 指令2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令2006/95/EC
- R & TTE指令1999/5/EC (製品にRF機能が搭載されている場合)



廃棄物についての指示
当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルください。